

第3期静岡市教育振興基本計画（案）に共感できますか。

またその項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
1	とても共感できる	時代の流れに合わせて、教育も変えていく必要がある。ただ、変わらないものも必ずあるはずだから、そこを教育委員会と学校現場が共有し、進めていくことが大事だと思う。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
2	とても共感できる	記載されている19の施策は、どれも子どもたちが充実した教育を受けるために必要な施策だと思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
3	とても共感できる	こどもたちの「生きる力」を育むことができる計画案だと思い、共感しました。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
4	とても共感できる	・Society5.0時代の到来、少子高齢化、国の教育制度改革等への対応として有意義な内容が記載されていると思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
5	とても共感できる	様々ある中で、特に「静岡市民を育てる教育」が良いと思います。私自身静岡市や地元である葵区が好きで、小学校の頃の地元に関する授業がとても好きでした。 素晴らしい静岡市の良さを子どもたちに伝えていけるような教育方針がとても良いと思いました。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
6	とても共感できる	時代に沿った 様々な視点から計画されてると思いました。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
7	とても共感できる	グローバル、ローカルに活躍する子どもたちの育成や、DXの推進、教育環境の整備等に重点的に取り組むとの記載があるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
8	とても共感できる	今の社会情勢や課題を踏まえて、未来の静岡市の子どもたちの育成のための取組が挙げられているため	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
9	とても共感できる	SDGsやIT教育といった来るべき未来に対応できる人間を教育していく為の施策が謳われており、とても心強く感じるとともに安心して子供を育てられる取組みだと期待できる内容であったから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
10	とても共感できる	自分の子供が小学生になり、もしも不登校となってしまったとき不登校の対策の推進がされているというのは心強い。 地域学校協働活動の推進というのも是非力を入れほしいです。自分もできることは協力していきたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
11	とても共感できる	Society5.0の視点をもっている点が共感できる。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
12	とても共感できる	課題、現状がきちんと分析されており、4つの基本的な方向性についても共感できるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
13	とても共感できる	静岡市の教育行政や教育現場が抱える課題と第2期基本計画の振返りを踏まえ、将来性、網羅性のある第3期教育施策の方向性を明確に定めている点と、具体的な施策として、多種多様なハード・ソフト事業をはじめ、教育DXやICT技術の導入などの先進的な取組、地域社会との協働などを積極的に取り入れようとしている点について、教育分野における大綱としての合理性、的確性を感じたためです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
14	とても共感できる	大人もそうですが、「自分で考える」ということが欠如していて、誰かに何かを指示されないと動けない人間や、指示されたことをきちんとこなすことに幸せを感じたり、使命感を持ってる人が多い気がします。 子供だけではなく、大人にも何かしらの方法で同様の教育をして欲しいです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

第3期静岡市教育振興基本計画（案）に共感できますか。

またその項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
15	とても共感できる	たくましくしなやかな子どもたちの育成のために、様々な取組を計画して下さりありがとうございます。子どもたちが安心・安全に、生き生きと教育活動に取り組み、たくましくしなやかな子どもたちに育っていくためには、学校や家庭、地域社会が安定していることが必要不可欠だと思います。本計画は、それらの課題を解決することがベースにあり、その上で、各事業が成り立つものと考えます。ぜひ、優先順位を考えた事業を推進していただければと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
16	とても共感できる	静岡市教育委員会の目指すべき方向性が明確になっている。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
17	とても共感できる	激動の事態において、目指す方向性と施策に共感します。しかし、学校現場では校務多忙によりぎりぎりの状態で運営が行われているのが実情です。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
18	とても共感できる	予測不可能な時代に生きる子ども達に生きる力を身に付けるために、必要な教育課題への対策が盛り込まれているため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
19	とても共感できる	未来を担う子どもにつけさせたい力、願う姿に共感できるから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
20	とても共感できる	複雑で変化の激しい社会の中でも、たくましく生きる子どもの育成を目指す計画であるから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
21	とても共感できる	たくましくしなやかな子どもたちの具体的な姿の例が、これからの子どもたちに必要な力となっている。特に④自己肯定感を育んでほしい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
22	とても共感できる	第3期というだけでなく、子どもの成長にとって、様々なことに直面したときにどうしたらいいか、ということに対応できる力を伸ばしていくことは、とても重要であり、「こうしたい、こうしよう」という主体性の強さ（たくましさ）と、臨機応変に…という柔軟性（しなやかさ）はとても重要であるからです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
23	とても共感できる	国の同行や社会情勢から、体系立って方針や施策が考えられているため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
24	とても共感できる	持続可能な社会の創り手を育成していくための方向性が整理され示されている。SDGsの視点もあるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
25	まあまあ共感できる	バランスよく子どもたちのことを考えていると思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
26	まあまあ共感できる	日々変化する社会情勢中でも、子どもたちが生き抜いていけるような施策が練られていると感じる。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
27	まあまあ共感できる	特色ある高等学校教育の推進	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
28	まあまあ共感できる	今の教育課題をきちんと捉えた方針が立てられているので共感しています。ただ重点的に取り組む事項も広く、どのことを特にということが伝わりづらかったです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
29	まあまあ共感できる	概ね共感できますが、施策①の総合的な学力についての捉えがわかりにくいです。第2章第1節（11）では国の動きとして「令和時代の日本型学校教育の推進」についてふれてあるのにも関わらず、施策①の内容は第2期と変わりません。学校のあり方が問われ、学校教育の大きな方向転換をすべき時に、これまでと同じことをしては、実際に現場で学校教育を担う教員の意識を変えるのは難しいと感じます。	③	施策①のほか、施策⑥特色ある小中高等学校教育の推進や、施策⑦の教育DXの推進、施策⑯の教職員の資質向上と働き方改革の推進など、様々な施策をそれぞれ推進することで、令和時代の日本型学校教育の実現を図っていきます。

第3期静岡市教育振興基本計画（案）に共感できますか。

またその項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
30	まあまあ共感できる	子どもの幸せを考える方向性は同感ですが、今までも静岡市が教育に力を入れているように感じられないです。予算面でも不足しているので実現可能かかなり疑問に思います。	③	予算には限りがあることから、時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。
31	まあまあ共感できる	知識だけでなく、人生を生き抜いていくには、遅しさと柔軟な思考活動が不可欠と感じているから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
32	まあまあ共感できる	次世代のための計画だから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
33	まあまあ共感できる	先の読めない世の中なので、柔軟に対応できる人になってほしいと思っています。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
34	まあまあ共感できる	教育にはいろいろな課題が混ざり合っていることがわかりました。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
35	まあまあ共感できる	教職員の働き方改革の項目が物足りないと思った。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
36	まあまあ共感できる	取組が必要な課題については網羅されており、またその方向性についても共感できるが、やや総花的な印象を受ける。年間予算には限界があるので、メリハリのある対応となるように、重点的に取り組む課題を明示した方がよいのではないか。	②	第5章に計画期間内に重点的に取り組む事項について示しております。また予算には限りがあることから、時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。
37	まあまあ共感できる	方向性としてはあまり問題がないように思えるから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
38	まあまあ共感できる	第2期の計画を継続するものと新規目標の整理ができていないから。ただ、新学習指導要領及び解説編をしっかり読み込んでの見立て、育成指標かは疑問に思う点がある。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
39	まあまあ共感できる	第3期計画に共感できるが第2期計画の取組がなんとか始まったばかりで内容が理解できていない学校もあり少し残念…じっくり計画を浸透させる時間、年数が欲しい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
40	まあまあ共感できる	SDGsの推進を柱にして、全ての施策が17のゴールにつながる考え方は、society5.0社会の到来を踏まえて適切であると思った。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
41	まあまあ共感できる	向上を目指す学力を総合的なものとして捉え、組織的な授業改善、学力の底上げ、自分らしく生きる力の育成として整理したことで、学校が取り組むべきことが明確になった。静岡市の教職員が一丸となり、学力向上に取り組む機運が高まることを期待する。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
42	まあまあ共感できる	静岡市民を育てる教育について、未来も大事だが、静岡市の歴史・産業に誇りをもてる子を今以上に育てたい。静岡市歴史博物館ができ、駿府城（天守台）が全国的に注目を集めている今、しずおか学をもっと重点的に行えると良いとおもったので。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
43	まあまあ共感できる	方向性として、現在の課題を踏まえながら、どんな社会になっても必要な力を育てることは重要だと思う。ただその創っていく社会のイメージが描けていない（伝わってこない）ように感じる。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
44	まあまあ共感できる	どれも必要なことだと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

第3期静岡市教育振興基本計画（案）に共感できますか。

またその項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
45	まあまあ共感できる	第2期から、取りこぼしのない教育支援の施策が立ち上がってきたことは共感できます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
46	まあまあ共感できる	第2期計画がベースになっているのは理解できるが、コロナ禍による急速な体制変化が強いられている中で、それに影響されて変わってきている部分をもっと強調して革新的にしてもよいと感じたので。	③	時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。
47	どちらともいえない	方針などには共感できるところも多いが、とにかく早くトイレの洋式化を進めてほしい。まずはそこにお金をかけてほしいと思う。体育館の女子トイレは全部和式。校舎も、全部が洋式に改善されたのは3分の1のトイレだけ。もうかれこれ10年以上前から思っていますが、なぜ改善されないのでしょうか。	②	校舎内トイレの洋式化、床の乾式化、内装改修、給排水設備の更新等を行うトイレリフレッシュ事業を順次実施しております。今後も引き続き、事業の推進を図ってまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
48	どちらともいえない	・第2期期間中は新型コロナウイルスの感染拡大の影響がもろに学校現場を襲い、これまでの教育格差や不登校、いじめなどの問題に拍車がかかり、子どもたちを苦しめたと思います。全体の方向性はわかりますが、各項目が前例踏襲のような一般的な記述で意気込みが今一つ感じられません。現場ではさまざまな取り組みがなされていると思われるので、その努力や子どもたちの現状を反映した記述が必要だと感じました。 ・社会教育に対する施策が弱いと思います。	②	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
49	どちらともいえない	本計画の目指す子どもたちの姿は理想に近いと考えられますが、前回計画の結果のICT教育の推進については、わが子が通う小中学校ともに愛知県北名古屋市の姪が通う小学校1年生の水準以下であり、本計画においても「学校におけるICTの活用」の具体性がいまだ見えてこないことにより、実際に子を持つ親の立場からは理想像に近づく具体策が乏しい計画に思えてしまいます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
50	どちらともいえない	多岐に渡る項目を掲げているため、今後の課題や方向性はすべて網羅されているが、すべてをやり切り成果をあげるための具体策がこれから策定されるため、絵に描いた餅状態になりかねない。進捗と成果の検証のため外部の第三者の意見を反映させる機関設置も検討してほしい。	②	本計画の進行管理として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、本計画の各施策に位置付けた事務事業において、取組状況や有効性の観点から毎年度点検・評価を実施しています。 点検・評価では、計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じて計画内容や事務事業の見直しに反映することで、効率的で効果的な教育の実現を図っています。 なお、点検・評価は学識経験者の知見を活用して実施しており、毎年度市議会に提出するとともに、一般へ公開しています。

第3期静岡市教育振興基本計画（案）に共感できますか。

またその項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
51	どちらともいえない	共感できる部分とそうでない部分が混在しています。 「第2節 計画に位置付け」では後段「幼児教育や文化・スポーツ、生涯学習など本計画と関連する各分野の個別計画との整合性も図っていきます。」とありますが、その点は詳細が分からないので整合性が取れているのか、全体を俯瞰したものになっているのか分かりません。「基本計画」に示されている計画が「子ども育ち・子育て、教育」の"全て"とは思えません。 「第3節 計画の対象」では「こども園、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校を中心として、子どもたちを取り巻く家庭、地域社会、これらを支える行政を含めた教育に関わる取組…」とありますが、「教育振興基本計画」としながらも、担当の教育委員会が策定しているからでしょうか、幼児教育や高等学校についてやインクルーシブ教育、社会教育（生涯学習）については触れられていることが少なく、「義務教育」に特化しているように感じますがいかがでしょうか。	①	本計画の対象のうち、幼児教育や生涯学習、文化・スポーツ分野においては、地方自治法第180条の7の規定に基づく教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則に基づき、静岡市教育委員会の権限に属する事務を市長部局に補助執行させている事務を主に本計画の対象としています。 なお、幼児教育や生涯学習、文化・スポーツ分野では、市長部局のそれぞれの所管局において静岡市子ども子育て若者プランや生涯学習推進大綱、静岡市文化振興計画、スポーツ推進計画といった個別計画を策定していることから、本計画と過度に重複することなく、整合を図りながらそれぞれを推進していくものです。 いただいたご意見を踏まえ、本文中に説明を追記します。
52	どちらともいえない	単純な学力の向上が、たくましさや、しなやかさには繋がらないのではと思いました。	②	本計画では、学力だけではなく、判断力や表現力、豊かな感性・道徳心、健やかな身体などをバランスよく備えた「たくましくしなやかな子どもたち」の育成を目指していきます。
53	あまり共感できない	社会の大きな変化に伴い、これからの社会を背負って立っていく子どもたちを育てていくために、具体的にどのような力を育てていくのか、そのために学校教育において力を入れて推進していく教育の方向性がまったく見えない。個別最適な学びと協働的な学びの往還が重視されている中、指導の個別化や学習の個性化など、学校教育を改革していくことが必要だと感じるが、第2期と変わらない内容にっかりした。他市町村や他県では、もっと先を見ながら教育改革に舵を切っている。今後8年間、今回の計画では静岡市の子どもたちは、完全に取り残されてしまう危機感を持っている。	③	社会情勢や国の動向を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、新たに教育DXの推進や、グローバル化に対応するための人材育成などの取組を、計画期間内に重点的に取り組む事項として位置付けています。いただいたご意見を踏まえ今後8年を意識した計画内容の検討を進めていきます。
54	あまり共感できない	時代の大きな変化への対応について、施策内容がこれまでの踏襲であったり、具体が見られなかったりという印象を受けました。特に施策①「総合的な学力の向上」の記述P23の5行は、基礎学力の定着とキャリア教育の視点に立った学びの充実を挙げていますが、全く新鮮さを感じません。総合的な学力は、認知能力以上に非認知能力を示すのではないのでしょうか。教科の授業や総合的な学習、特別活動などの場面で、実生活や実社会とを結び付けた学びを創造することで育成され、活用、発揮されていくと考えます。総合的な学力について、さらに深い指針を示していただきたいと感じました。	②	ご指摘のとおり、施策①「総合的な学力の向上」では、認知能力と非認知能力の両方を育成していくための施策になりますが、非認知能力の育成によりつながる取組としては、施策②「豊かな心・感性の育成」に位置付ける整理としています。
55	わからない	何も知らないから。	④	今後の教育行政の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
1	①総合的な学力の向上	学力は大事だと思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
2	①総合的な学力の向上	前述と同様で、総合的な学力の中身が、これまでと同じ「学力アップサポート」で保障されるのか疑問です。教育センターの訪問指導も毎年ではなく、教科別研修も指導助言は指導主事でなく校長会でを行うとしています。令和の日本型教育についての教育委員会から周知指導していただきたいです。 令和の日本型学校教育では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が重視されています。授業でも一律一斉を手放し、個々の興味関心や、認知の特性に合わせ、自己選択、自己決定できる場のある授業の展開も必要です。また、学校の中で完結せず、地域や社会とつながる探究的な学習を展開していくことも重要な課題です。時代にそぐわない教育が、不登校を増加させてしまうことに繋がります。	③	施策①の総合的な学力の向上のほか、施策②豊かな心・感性の育成や施策⑥特色ある小中高等学校教育の推進、施策⑦の教育DXの推進、施策⑯の教職員の資質向上と働き方改革の推進など、様々な施策をそれぞれ推進することで、令和時代の日本型学校教育の実現を図っていきます。
3	①総合的な学力の向上	総合的な学力とは、単に知識理解など、テストができるという学力ではない。身の回りの生活の中で課題を見つけ、その課題を解決していく力だと考える。そのために、学校教育は何をしていかなければならないかを考えていきたい。教師が主導で教える学習スタイルは変えていくべき。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
4	①総合的な学力の向上	全ての子どもたちが高い学力になるのは難しいと思いますが、やはり基礎となる学力はしっかりと身につけてほしいです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
5	①総合的な学力の向上	これから生きていく子どもたちにとって自らの未来を切り拓いていく力を持つことはとても重要だと考えます。 そのためにも総合的な学力は物事を理解していく上で必要であり、ぜひ進めていってほしいと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
6	①総合的な学力の向上	「19の施策」から3つ以内を選択するのは難しいのですが、関連が強いだらうと思われる項目を選びました。必ずしも選択肢と内容が合致していないかもしれませんが、ご容赦ください。 まずは学力観についてです。静岡市の捉えている学力観は「総合的」と言っているものの、第2期の成果（第2節（1）や第3節の課題（1））では「学力学習状況調査」の平均点を核にして評価していることへの見直しはあるのでしょうか？「学力向上」の具体的な姿を示してこそ、そこへ向かっての授業改革が進むのではないのでしょうか。静岡市の教育は、文科省の示している「生きる力」の資質能力の3つの柱でいう「学びに向かう力、人間性等」に特化することも検討しては如何でしょうか。施策①では、主な取組として「学力向上支援」「キャリア教育」「学校図書館の充実」としていますが、どんな力を付けた子どもを育てていこうとするのかは明確でないように感じます。 そこで「探究する力を身に付ける」と明示しては如何でしょうか。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
7	①総合的な学力の向上	教員の本業は授業である。授業の単元展開、指導案の構想及び研修にかかる時間がほかの仕事で圧迫されている現実がある。授業を大切にし、授業の中で子どもの成就感や達成感を持たせることが諸問題の未然防につながる。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
8	①総合的な学力の向上	学校教育の一丁目一番地であると考えたので。そして「2」の自由記述のとおり、記述に物足りなさを感じたので。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
9	①総合的な学力の向上	いつの時代も社会でも、求められるものだから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
10	①総合的な学力の向上	まずは学力をつけたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
11	②豊かな心・感性の育成	義務教育では管理される中で、いかに子どもたちの心や感性を育てていけるかどうか。そんな教員であれば安心して子どもを預けることが出来ると思う。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
12	②豊かな心・感性の育成	学力とともに、心の成長も大事だと思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
13	②豊かな心・感性の育成	心の土台が大切だと考えるからです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
14	②豊かな心・感性の育成	子どもの頃に、いろいろなものに触れ、様々な経験をすることにより感性が磨かれ、その後の物の見方が変わるのではないか。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
15	②豊かな心・感性の育成	生きにくいこれからの時代を強く生き抜くために必要だと思うので。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
16	②豊かな心・感性の育成	豊かな社会生活を営んでいくためには不可欠なファクターである。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
17	②豊かな心・感性の育成	社会環境の変化によって、自然とふれあう機会の減少や格差が発生していると思うので、教育委員会として誰でも様々な体験を受けられる機会を提供し、豊かな心や感性の育成に取り組んでほしいから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
18	②豊かな心・感性の育成	殻に閉じこもらず、さまざまなことに触れてほしいと思っています。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
19	②豊かな心・感性の育成	情操教育は教育の肝だと思う。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
20	②豊かな心・感性の育成	教育の一番大切なことは、心の育成だと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
21	②豊かな心・感性の育成	勉強ができるかどうかではなく、人間として成熟させるのが教育だと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
22	②豊かな心・感性の育成	効果が不明なコロナ感染対策を止めて欲しいからです。黙食等は完全に廃止にして、給食の時間をもっと楽しんで欲しいです。	④	令和4年12月より、給食喫食時は「会話を控える」から、引き続き感染対策をしつつ「会話しても良い」とする対応に変更しました。（ただし、各学校の感染状況等により対応できない学校もあります。）
23	②豊かな心・感性の育成	複雑化する社会の中でも、人と人とのつながりを大切にし、思いやりの心を持ち、しなやかに生きてほしいから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
24	③健やかな体づくり	自分が大人になって一番重要で学べてよかったと感じるのが自らの健康に関心を持ち規則正しい生活習慣を維持・向上させるための自己管理能力を養うことだから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
25	③健やかな体づくり	健康であることが1番大切です。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
26	③健やかな体づくり	体は学びの根本。健康でなければ学ぶことは難しいため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
27	③健やかな体づくり	マスクを1日中付けているのを止めさせて欲しいです。心身共に良くないと思っています。	③	<p>学校では、子どもの健やかな学びの場を確保しながら、感染症対策として、3つ密の回避、人と人の距離の確保、マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気などの基本的な感染対策に継続して取り組んでいます。</p> <p>マスクをしたままの生活について、ご心配をされている方がいらっしゃることは承知しています。学校では、身体的距離が十分とれないときに着用することとしていますが、息苦しいと感じた時、体育の授業などは外すなど、活動内容や本人の体調に応じて、マスクを外すよう指導をしており、学校生活においてマスクの着用が不要な場面等について、各学校及び保護者あて通知しています。</p> <p>今後も、子どもたちの安全・安心を確保し、保護者の理解と協力を得ながら、感染対策に努めていきます。</p>

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
28	③健やかな体づくり	コロナ禍で体を動かすことを楽しむ機会（個人も集団としても）が激減してしまった3年間を取り戻し、長い人生の中で継続して体づくりができる基礎を作りたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
29	④静岡市民を育てる教育（シティズンシップ教育）	一人ひとりが自立した考えを持って、他人と協力しながら社会の課題に取り組むことが大切だと思います。自分たちのことは自分たちで決めるといふ主権者としての意識を育てることが必要です。大人にとっても言えることであり社会教育の重要性も一層増していると考えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
30	④静岡市民を育てる教育（シティズンシップ教育）	<p>「19の施策」から3つ以内を選択するのは難しいのですが、関連が強いだろうと思われる項目を選びました。必ずしも選択肢と内容が合致していないかもしれませんが、ご容赦ください。</p> <p>静岡市の若年層の人口流出が止まらないと聞いています。高校卒業後に進学や就職で大都市圏に出て行ってしまふ政令指定都市は残念ではありません。一度は出ていく体験をしても、やっぱり静岡で暮らしたいと思えるような静岡の魅力づくりと共に、子どもたちにそういった思いをもてる経験をさせておくことが「静岡市民を育てる」ことでも大切ではないでしょうか。就職はもちろん、婚活や妊活・出産への支援、子育て子ども育ちの充実も一体化して考える必要があります。他の部署で検討されているのかとも期待しますが、本計画との関連性は分からず残念です。</p> <p>施策④では、「郷土を知る」「しずおか学」「校則の見直し」3項目とありますが、地域課題を見つけ、課題解決に関わるようなプロジェクト学習などの体験的な学習経験を繰り返すことで、学校の中や教科指導だけではできにくい地域に関わることへの喜びや地域の方との出会いの大切さを強く押し出して欲しいと願います。幼児教育では「遊びは学び」、小学校低学年で「生活科」、中学年から中学校までは「総合的な学習の時間」、高等学校では「探究の時間」と一本の柱が新たに示されましたし、生きていく上で大切に欠かせない力になると考えます。</p> <p>そこで「探究力を身に付ける」と、施策①と併せて、明確に示しては如何でしょうか。</p> <p>「郷土を知る」ことはスタートですが、知ることが目的ではないと考えます。しずおか学は6つの領域を例示していますが、それをやっければよいということではありません。ましてや「副読本で学ぶ」ということになってしまふは本末転倒です。そうならないよう教師の力量を挙げる必要もありますが、多忙を理由にできていないようにも感じます。「校則の見直し」は、自治能力の育成ということに置き換えられませんか？自分たちの生活のルールは自分たちで決めていく自治力を育てることが、民主主義の社会を形成する市民養成につながる大きな経験になると思います。決して学校主体で構想を改正すればいいということにはなりません。</p> <p>こうした取組を重ねることで、静岡市の魅力を実感するようになり、参画したいという気持ちが強くなり、静岡市に住み続けよりよいまちづくりに貢献していく静岡市民を生み出していくのではないのでしょうか。一度市外へ出て戻ってくる可能性も高くなるとも考えます。</p>	③	<p>就職、婚活や妊活・出産への支援、子育て子ども育ちの充実の一体化につきましては、本市の子ども・若者に関する施策については、主に「静岡市子ども子育て若者プラン」において推進しており、本計画と関連する部分については、相互に連携しつつ取組を進めていきます。</p> <p>その他いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p>
31	④静岡市民を育てる教育（シティズンシップ教育）	2に書いたことと同じ。「本市教育施策の基本的な方向性」方向性1に「しずおか学の推進」とあるが、体系図の主な取組に「しずおか学」が記載されていない。	①	体系図の主な取組に記載することとします。
32	⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成	広い視野を持つことが、将来様々な場で活躍するためには必要であると考えため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
33	⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成	国際化が進むので	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
34	⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成	静岡の人材育成が大切だから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
35	⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成	国際的社會に進出することのできる能力をもった人材を育成していくことで、長い目でみて静岡市が盛り上がっていくことにも繋がると思うから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
36	⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成	これからの時代に必要な視点だと考えるため	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
37	⑥特色ある小中高等学校教育の推進	他都市との差別化の中で、静岡市はこういった特色があるとPRできることはよいことだと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
38	⑥特色ある小中高等学校教育の推進	少子化が進み、社会環境の変化が激しくなる中で、静岡型小中一貫教育や高校の魅力化など、特色ある取組によって児童生徒の個性や能力を伸ばさせる必要があると感じるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
39	⑥特色ある小中高等学校教育の推進	小中一貫教育の中で、9年間を通しての学び、キャリアパスポートの使用による生き方について、再度、教育期間が横のつながりを持ち、共有、協議を継続してもらいたい。政府が示す金融教育も高3だけでよいのか疑問である。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
40	⑥特色ある小中高等学校教育の推進	それぞれの学校が特色を出せるよう、教育委員会の支援を期待したいから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
41	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	「プログラミング教育」の始まりとともに、コロナ禍で現場の困惑も大きかったかと思います。ただ、今後の社会を生きる子どもたちにとって、デジタルリテラシー（単なるスキルではなく考える力のレベル）は非常にクリティカルな能力になります。多様な教育が取り組まれる中、課題もあるかと思いますが、教員の負荷軽減や保護者との連絡手段の改善なども含めつつ、子供たちがデジタル技術を使って創作活動や自分の興味関心を広げられるよう環境（ICT環境や、指導者の確保、SNSモラルと過度な忌避観を持つ保護者への丁寧な説明など）を整えていってほしいと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
42	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	時代の趨勢	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
43	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	デジタル技術について教育分野では、もっと活用し、効率化できることが多いと思うので、積極的に進めていってほしいから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
44	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	Society5.0時代と指定都市にふさわしい教育を推進してもらいたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
45	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	社会全体がアナログからデジタルへと変容し、グローバル化が叫ばれる現代社会においては、単にICT環境を整備するだけではなく、デジタルを活用してより効果的な教育を図り、子どもたちの将来性を高める必要があると感じるためです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
46	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	教育DXの環境整備が早急に執り行われれば、自ずと国内外に通用する人材育成の下地は完成される。子供たちのIT機器に対する操作や理解のスピードは想像以上に早く、興味関心があるからこそ学びに前向きなのが現代社会の子供達と感ずます。教育DXの環境整備には通信環境もさることながら、教える側の大人の熟考度がキーとなります。それは下記に選んだ④質の高い教職員の確保に通ずるものがあります。	②	ICT環境の整備に加え、ICTを活用した教職員の指導力向上を図る支援やリーダー育成の為の研修等を実施し、教職員のスキルアップにも取り組んでいきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
47	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	どの業界もDX化が進んでいる中、教育現場だけは著しく効果的に活用できていない面が散見されるから。子供の学習効率向上、教師の事務仕事の負担削減のためにもDX化に力を入れて欲しいと思う。そうすれば教育学部生の教員志望率が上がる。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
48	⑦教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	体育館のwi-fi環境の整備がされておりません。学習や学校行事等で欠かせない設備です。早急に設置ただけるよう施策に取り入れていただきたいです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
49	⑧特別支援教育の推進	近年、発達障害等の理解が広まり「支援学級」に対する抵抗が少なくなっていることから、保護者や子ども自身が「一人ひとりに寄り添った教育環境」を希望し、今後も特別支援学級の児童・生徒数が増加していくと思われるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
50	⑧特別支援教育の推進	多様な教育ニーズに応えるために必要な「専門性」が多く求められています。人材配置、指導体制、そのための研修も必要です。それには組織一体で支援をし、生徒、保護者、学校の三位一体で取り組む事が大事だと思います(担当される先生のフォロー体制も) 又、軽度障害生徒が通いやすい通級制度も、小中共に拡充していけたら良いと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
51	⑧特別支援教育の推進	皆が教育を受けられる事が大切だから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
52	⑧特別支援教育の推進	SDG s が浸透し、医療的ケア児など特別な支援を必要とする子どもがクローズアップされることが多くなったこともあり、特別支援教育の推進は重要であると思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
53	⑧特別支援教育の推進	すべての児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、多様なニーズに応じたきめ細やかな支援が必要だと感じるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
54	⑧特別支援教育の推進	各学校で次第にきめ細やかな対応がなされるようになってきているが、まだ十分な人員を確保できていないように感じる。インクルーシブ教育の実現には、それを支える人材の確保が重要であるので、特別教育支援員、非常勤講師、医療的ケア看護職員の確保については最優先の課題として取り組んでほしい。	③	ご意見ありがとうございます。特別支援教育支援員、自閉症・情緒学級非常勤講師、医療的ケア看護職員について、必要な人員を確保してまいります。
55	⑧特別支援教育の推進	社会全体が共生社会に向かう中、教員こそがいち早く今までの固定観念（例：一斉、画一的な考え）から、多様性を理解できるマインド（「個別最適」「合理的配慮」）に変えていく必要性を強く感じているので。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
56	⑧特別支援教育の推進	学校現場において、特別な支援が必要な子への対応は急務である。予算確保を望む。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
57	⑧特別支援教育の推進	特別支援学級の担当者だけでなく、全ての教職員が特別支援教育の考え方を理解し、実践することが大切。教職員の研修体制の充実に力を入れて頂きたい。	②	全ての教職員が発達障害などの特性を踏まえた学級経営・授業づくりができるよう、また特別な支援を要する児童生徒への指導経験が浅い教員も、自信をもって指導に当たることができるよう、支援及び研修の見直しをしてまいります。
58	⑧特別支援教育の推進	令和の日本型学校教育における個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、特別支援教育を推進し「誰一人取り残さない教育」を行う必要がある。簡単に人員を増やすことは難しいとは思いますが、巡回相談の仕組みを変え、困っている子どもにどの程度でどの程度の特別支援を行ったらいいかを相談できる所をつくり、学校や保護者だけでは判断することが難しい特別支援が必要な子どもを見つけるための取組ができるようお願いしたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
59	⑧特別支援教育の推進	通常級に在籍する支援が必要な子への対応は、これまで以上に専門的な知識やタイムリーな対応が必要となってくると思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
60	⑧特別支援教育の推進	多様な子どもたちに対して、いかに一人一人に適切な支援が出できるか…がとても求められていると感じています。配慮が必要な子どもたち（不登校という表れで表現している子も含めて）への支援を重視することが大きな課題であると思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
61	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	不登校や教室に入れなくなった子どもたちの原因の根底には、家庭環境や養育歴が深く関係していることが多いと感じる。学校に行きづらくなっている子どもたちを、様々な立場の人が関わり、学校以外にも通うことができる場所があると子どもたちの逃げ場ができる。その子の置かれている環境や特性を見ながら、複数の大人が知恵を出し合い、必要な支援に繋げることは有効だと思う。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
62	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	子ども達が置かれている環境はそれぞれ異なり、様々な事情を抱えている子どもも多いと思うから。また、ニーズに合っていない教育だと、十分な教育を受けられなかったと不満を感じる人も出てきてしまうと思うので、全てのニーズにこたえることは難しいと思うが、できる限り様々なニーズに対応していくことが大切だと思うため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
63	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	個人の能力差、家庭の教育力の差、多様な人間性など、子どもたち自身も大きな個人差を抱える中、一斉授業ではなく、個々に寄り添った学習が必要だと考える。指導の個別化であり、学習の個性化だ。その辺の静岡市の考えが見えない。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
64	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	特別支援の教室に通う子どもも増えていると感じている。普通学級でも支援の必要な子どもは増えていると感じている。細かく対応していくことは難しいとは思いますが、人手を増やすことでも、できるだけ対応できないかと思う。	②	特別な支援を必要とする児童生徒の把握と適切な支援員の配置の充実に向けて、学校と特別支援教育センターで連携して支援体制を整えていきます。
65	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	特別支援、貧困、不登校など、きめ細かなニーズに寄り添った対応が必要と考えるため	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
66	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	全てを均等に学ぶことより、興味の持った教科や項目を学ぶ(長所を伸ばす)ことを優先した方が、結果的に豊かな社会になるのではないかと考えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
67	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	今は画一的な教育を行えばよいというような時代ではないため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
68	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	<p>「19の施策」から3つ以内を選択するのは難しいのですが、関連が強いだろうと思われる項目を選びました。必ずしも選択肢と内容が合致していないかもしれませんが、ご容赦ください。</p> <p>「個々のニーズに対応した教育」として示されているのは、一定の評価はしますが、問題に対処する施策ばかりに感じます。選択肢がもっとたくさんあり抵抗少なく選択できるインクルーシブが社会を形成していこうとする発想を大切にしたいと願います。</p> <p>現在の「いじめの定義」によれば、「いじめ0」無理ではないでしょうか。目指そうとすることの方が、「0報告」を目指すばかりに危険な状況をつくりだしかねないと感じます。施策②豊かな心・寛政の育成とも関連しますが、心と行動を理性で区別していける力を身に付けさせることが大切ではないでしょうか。「いやだな」と感じてしまうことは止められませんが、それを同言動に表すかは学び・経験していくことで向上の可能性があると考えます。「いやだな」と思わないようにすることはできないのではないかと考えます。不登校も「登校ありき」の発想が根強くあります。登校しない選択が広がりつつあるようにも思いますが、登校させることが問題の解決にはつながらないことは自明の事実です。同年齢同学年、一斉授業中心では、「だれ一人取り残さない」こと難しいことは誰もが認めることではないでしょうか。例えば、イェナプラン教育等の導入や、一斉授業からの脱却のための『学び合い』や「自由進度学習」などを取り入れていくことなどをして、子どもたち一人ひとりの関心やスピードに寄り添う可能性を拡大して欲しいと願います。「だれ一人取り残さない」で「総合的な学力」付けることに向かうのではないのでしょうか。それを助けるためのツールとしてのICTであってほしいと願います。</p> <p>学校教育の複線化。カリキュラムを含めた選択肢の拡大を願います。</p>	②	<p>「選択肢がもっとたくさんあり抵抗少なく選択できるインクルーシブが社会を形成していこうとする発想を大切にしたい」というご意見について、現在「校則の見直し」の中で、児童生徒が自らのルールづくりに参画しています。その中で、児童生徒一人ひとりが互いに尊重し、認め合う力を養うことを目指しています。「だれ一人取り残さない」ことへのご意見に関しても、上記のような力の育成が重要であると考えております。</p> <p>「いじめ0」を目指すうえで、まずは「いじめ見逃し0」を目指し、学校が子どもたちにとって安心・安全な場となることを目指します。それと並行して、豊かな心や感性を育てていきたいと考えます。</p> <p>不登校対策については、登校することを目的とするのではなく、児童生徒一人ひとりが社会的に自立していくことを目的とし、学校を中心としながら、関係機関と協力し、対応していきたいと考えています。</p> <p>全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学び、協働的な学びの実現に向け、ICTの効果定期的な活用や授業改善のための教職員研修に努めて参ります。</p>

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
69	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	学校現場では、特別な支援を要する児童生徒への対応、不登校児童生徒への対応、外国につながる児童生徒への対応、いじめや暴力行為等の問題行動への対応、保護者対応、感染症予防対策など、多くの課題を抱えています。特に、特別な支援を要する児童生徒への対応、不登校児童生徒への対応は喫緊の課題であると思います。本計画では、特別支援教育の推進の充実や不登校対策の推進を掲げていますが、ぜひ、各校に一人以上の支援員や相談員の配置をするなど、本計画の中心にいる子どもたちや教職員のために、本気になって取り組んでいただければ幸いです。	②	これまで中学校を中心に教育相談員を配置していましたが、小学校への教育相談員の配置拡充をすすめ、児童生徒の教室以外の居場所を確保し、不登校のさらなる未然防止を進めていきます。 特別な支援を必要とする児童生徒への支援につきましては、必要なところに必要な人員を配置するように取り組んでまいります。
70	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	個別最適化された学びを推進していくためには、個々のニーズにどれだけ対応できるかが大切。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
71	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	全体学習にどうしてもそぐわない児童への対応や支援をしていく人や場が必要。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
72	⑨個々のニーズに対応した教育の推進	多様な子どもたちに対して、いかに一人一人に適切な支援ができるか…がとても求められていると感じています。配慮が必要な子どもたち（不登校という表れで表現している子も含めて）への支援を重視することが大きな課題であると思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
73	⑩教育機会の均等の確保	住んでいる地域や家庭環境の違いで受けられる教育に差異が生じてしまうことは、子ども達にとって良くないことだと思うため。また、機会が与えられないことで、子どもの能力や可能性を伸ばすことができなくなることも考えられるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
74	⑩教育機会の均等の確保	家庭が経済的に苦しいために働くなどして、親に余裕がなく、子どもたちに影響が出ている例がたくさんあります。就学援助要件の緩和や給食費の無償化など、家庭への直接支援で機会均等を目指してほしいです。	③	就学援助の要件の緩和について、通常は前年の収入に基づき審査していますが、家庭の収入が急変した場合も申請をしていただくことができます。今後も社会の経済状況を踏まえながら、確実に支援ができるよう努めていきます。 市立小中学校における給食費の無償化については、本市の財政事情から非常に困難であるため、実施予定はありませんが、ご意見は、今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。
75	⑩教育機会の均等の確保	英検の補助金制度などみんなにわかるように知らせないと意味がないと思います。あまり補助金を出したくないように感じます。	③	英語検定受検者補助事業は令和2年度で終了いたしました。今後も子どもたちの英語力及び学習意欲の向上を図るため、各学校に対して英語検定受検や準会場受験の有用性等について情報を伝えていきます。
76	⑩教育機会の均等の確保	多様な子どもたちに対して、いかに一人一人に適切な支援ができるか…がとても求められていると感じています。配慮が必要な子どもたち（不登校という表れで表現している子も含めて）への支援を重視することが大きな課題であると思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
77	⑩安全安心の確保	子どもの居場所として学校の存在は大きいと思いますが、学校以外のフリースクール等の安心出来る場所も必要だと思います。	②	<p>静岡市では、不登校児童生徒への支援として3区に一箇所ずつ適応指導教室を運営しています。ここでは、集団生活への適応や自発的な学校復帰を支援するためのカウンセリングや学習支援等を計画的かつ組織的に行っています。子どもたちにとって学校以外での学びや体験のできる場として利用されています。</p> <p>フリースクール等民間施設については、市内でも、様々な形態で民間の事業所が運営をしています。今後は、不登校児童生徒の支援のあり方として、学校・行政・フリースクール等民間施設がどのように連携していくことができるか、検討してまいります。</p>
78	⑩安全安心の確保	災害や事件が多く発生する中、子どもたちの命、安全安心の確保が、重要だと考えるため	③	<p>いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p>
79	⑩安全安心の確保	すべての対策は安全安心健康あってことであるから。 アレルギーへの理解もまだまだだと感じる。	③	<p>学校においては、アレルギー疾患（気管支ぜん息、食物アレルギー・アナフィラキシー）を有する児童生徒に対しては、主治医が記載した「学校生活管理指導表」を用いて、必要な情報を把握しています。そして、学校生活管理指導表に基づいて、取組プランを作成し、保護者と面談を行い、児童生徒の症状の変化等には随時、適切に対応しながらすすめています。</p>
80	⑩安全安心の確保	学校教育を支える教育委員会には、教育現場の技術的な向上を高めるための施策より、1歩俯瞰した立場として、安全安心な教育環境の確保を期待したいと考えるためです。 具体的には、学校施設等への不法侵入事件や児童・生徒への加害事件などを防止するため、ハード・ソフト両面からの整備を期待したいと考えております。	③	<p>学校における不審者対策としては、児童生徒の登校後は門を閉めておくことや、玄関で来校者のチェックするなど、不審者対応マニュアルに基づいた、危機管理体制を整備しています。また、警察と連携し、教職員の不審者対応訓練を実施し、不審者への対応力の向上を図っている学校もあります。今後も児童生徒が安心して生活できる学校づくりに取り組んでいきます。</p> <p>【ハード面】子どもたちが安全安心に学校生活を送ることができるよう、環境の確保に努めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p>
81	⑩安全安心の確保	市内では道路改良が進んでいるが、なお子どもたちの通学には危険な道路等が散見される。地域やPTAと協働し、通学の安全の確保に積極的に取り組んでほしい。	②	<p>通学路の交通安全対策については、「静岡市通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会、道路管理者、警察、地域、学校などが連携し、毎年、継続的に取り組んでおり、路面標示や防護柵の設置のほか、交通安全指導などの安全対策を行っています。今後も、子どもたちの登下校中における更なる安全確保に向けて、積極的に進めていきます。</p>

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
82	⑪安全安心の確保	コミュニティやコミュニケーション方法が現代はネットやSNSを介して図られることが多くなりました。それと同時に誹謗中傷や犯罪における危機管理がネット上に存在することが多く、対面で露呈しにくくなっています。安心安全の確保にどう力を入れていけば、安心安全といえるのか「定義」が不明ですが、親や学校、地域で気が付けられない脅威にどのように対策するのかを含めて議論が必要だと思います。また、家庭内外において閉鎖的な心の不安定要素となるものがあつたときに、子供自身で相談できるホットラインの設置、設置されているのであればそれが形式的なものになっていないか、相談順序が煩雑ではないか、守秘義務は確立されたものであるのかを検証していただきたいです。	②	各学校では、日常の児童生徒の様子を観察し、一人ひとりの状況の把握に努め、変化が見られる場合には随時、相談に乗っています。また、市内小中学校全校で「悩み事調査」を年3回実施したり、校内に投書箱を設置したりして、子供自身が相談できる機会を設定しています。悩みがあると回答した子供全員に対して悩みを聞き、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携を図り、守秘義務を遵守して対応しています。また、静岡市の子ども若者相談センターやその他の相談機関の連絡先についても、長期休業に入る前等に周知することを併せて行っております。 教育委員会としましても、こうした相談体制が利用者にとって利便性のあるものとなるよう、一層の充実を図ってまいります。 SNSの利用に関しては、施策⑦「教育DX化の推進」の中で情報モラル教育として取り上げております。情報モラル教育教材「SNSノートしずおか」を活用した授業等を行い、児童・生徒の情報モラル・リテラシーの強化と向上に努めて参ります。
83	⑪安全安心の確保	子どもたちが安心・安全に学校生活を送るためには、環境整備が重要であると考えます。今年もそうであったように、猛暑による熱中症対策、台風等の自然災害への対策等に課題があるように思います。子どもたちが豊かに、そしてたくましく育つためには、文化的活動や体育的活動が大きな要素となります。ぜひ、特別教室の空調整備を早急に行うべきだと考えます。また、学校は災害時に避難場所となることが多く、特に体育館や武道場等は優先場所となっています。トイレの洋式化を進めているようですが、そうした避難場所こそ洋式化を進めるべきだと思います。実際、9月の台風により避難してきた高齢の住民が大変苦労していたと聞きました。	② ③	・児童・生徒の健康のため、そして学習しやすい環境づくりのため、引き続き、特別教室への空調設備導入の検討を進めてまいります。 ・校舎内トイレの洋式化、床の乾式化、内装改修、給排水設備の更新等を行うトイレフレッシュ事業を順次実施しております。いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
84	⑪安全安心の確保	施設の老朽化が進み、年々危険箇所が増え対応に苦慮している。おそらくこの学校も同様だろうと思われる。全ての校舎の改築を一度に行うことは難しいので、計画的に順序を決め校舎改築を行っていくことが必要だと考える。	②	老朽化の進んだ学校施設においては、本市アセットマネジメント基本方針に基づき、中規模改修工事や大規模改修工事等による長寿命化や建替え等、老朽化対策を計画的に実施し、安全安心で快適に教育を受けることができる環境の整備に努めてまいります。
85	⑫市アセットマネジメント方針に則った教育施設の整備	学校施設が老朽化し、壁のひび割れや雨漏りなどが見られるから。トイレの改修が半分で薄暗く、校内のバリアフリー化が必要だと思うから。	②	・老朽化の進んだ学校施設においては、本市アセットマネジメント基本方針に基づき、中規模改修工事や大規模改修工事等による長寿命化や建替え等、老朽化対策を計画的に実施し、安全安心で快適に教育を受けることができる環境の整備に努めてまいります。 ・校舎内トイレの洋式化、床の乾式化、内装改修、給排水設備の更新等を行うトイレフレッシュ事業を順次実施しております。今後も引き続き、事業の推進を図ってまいります。 ・学校施設のバリアフリー化については、建築物の構造や敷地の形状等の制約がある中、より使いやすい施設となるよう、整備に努めてまいります。
86	⑫市アセットマネジメント方針に則った教育施設の整備	県内の他市と比べて施設、設備は古いものが多い	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
87	⑫市アセットマネジメント方針に則った教育施設の整備	静岡型小中一貫教育の行く末はどの学校も施設一体型一貫校となることを目指していると高木教育長の時代から聞いている。山間部のみならず、地域が前向きに意欲を示している安倍川中学区をまずロールモデルとして、市街地にも手を付け、浜松や磐田に負けない全県全国にアピールする小中一貫校の設立を期待するため。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
88	⑬ICT環境の整備・充実	体育館等でもネット環境を整えて欲しい。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
89	⑬ICT環境の整備・充実	端末の調達だけでなく、むしろ機材の管理方法や、適切な教材、クラウド環境、校内の通信環境、家庭での利用ルールなどどれだけ決め細やかに整備できたかで、ICT環境を有効に利用できるかが決まります。限られた予算のなかで難しい選択だとは思いますが、決して現場負担を前提にコストを減らすような選択をせず（それをすると、そもそも導入にかかるすべての予算が無駄になってしまうリスクがあります）、よい環境を選択いただければ幸いです。 ICT環境を整備することで、学校の運営コストや教員の労働、保護者とのやりとりなど様々な負荷が大きく削減することが期待できるため、そのメリットと天秤にかけてご判断いただけると幸いです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
90	⑬ICT環境の整備・充実	学校では、授業支援の支援員が配置されています。しかし、職員用ネットワークや新しいメール配信システム、デジタル教科書や電子ドリルなど支援員の職務を越える分野が多くあり、教員が苦慮している。総合的なICT活用を援助できる職員を配置してほしい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
91	⑬ICT環境の整備・充実	Society5.0時代と指定都市にふさわしい教育を推進してもらいたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
92	⑬ICT環境の整備・充実	ICT機器の利活用、データの活用法、調査方法さえ分かれば学校での学習以外にも相当の学習効果が見込めるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
93	[⑭質の高い教職員の確保]	教職員のなり手が少なくなっているのは未来に向けて非常に不安であるから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
94	[⑭質の高い教職員の確保]	保護者目線では、熱量のある、全体と向き合ってくれる教員に期待したい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
95	[⑭質の高い教職員の確保]	教員の採用倍率が減少し「定員割れ」が起きた自治体もあることから、今後、教師を目指す人材については質の低下が生じる可能性がある。少しでも質の高い教員を確保するためには、働き方改革とともに教員の魅力化を発信するとともに、採用試験の早期化による人材確保や採用後の教員養成研修の充実など、教員養成大学との連携が重要と考える。	②	ご意見ありがとうございます。県内の教員養成大学や静岡県・浜松市と連携して、働き方改革と教職の魅力発信し、意欲のある質の高い教職員の確保をめざします。また、採用試験の早期化につきましては、静岡県・浜松市と連携して検討を進めてまいります。
96	[⑭質の高い教職員の確保]	・教職員の労働環境が社会的に問題となることが増えてきたため、優秀な教職員の確保が今後困難になってくると思われるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
97	[⑭質の高い教職員の確保]	教師の仕事が大変すぎて、そこを目指す学生も減っているように思う。また、実際に教師になってからの負担も大きいと思う。急な病気でも、安心して休めるような、余裕のある人数で学校に先生が配置されたらよいと思うが、退職された先生を活用していくなど、対策が必要だと思う。	②	働き方改革プランを実施し、教員が心身ともに健康で働くことができるように、業務改善に努めてまいります。。また、ご意見のとおり、人材確保に努めるとともに、教員志願者を増加させるために、教職の魅力発信してまいります。
98	[⑭質の高い教職員の確保]	子どもの頃に受ける影響は大きいので、職員の方もしっかりした見本になってほしい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
99	[⑭質の高い教職員の確保]	大学生からそのまま教職についた人間だけではなく、社会を経験した上で教職につくことができるシステムを構築された方が、進路指導などに役立つのではないのでしょうか。 先生しかやったことない人に進路指導されても説得力がない。と思います。	③	現在も他業種を経験してから教職に就いた先生もおりますが、ご意見として参考にさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
100	[⑭質の高い教職員の確保]	学校現場に社会のあらゆる課題が集中し、教職員の方々の負担が増していると思います。 質の高い教職の確保には、正規の教職員の増員や市教委による時宜にかなった研修が必要であると考えます。最も重要なのは、子どもへの細やかな目配りと充実した授業が行える少人数学級の推進であると思います。質の高い教職員の確保とは、教師の専門性が十分に発揮される条件整備に他ならないと思います。	③	ご意見をいただきありがとうございます。現在、静岡市では国に先駆けて全ての小中学校において35人以下学級を行っております。今後も、子どもへの細やかな目配りと充実した授業が行える少人数学級の推進を行うことができるよう、適正な学級規模の検証を行い、教師の専門性が発揮される環境整備に努めてまいります。
101	[⑭質の高い教職員の確保]	教職員によって質に差があるのは明確であり、それは一企業において考えても同様です。その職に対して向き不向きは当然にありますし、教える科目に、向き不向きもあります。しかしながら、勉強方法を教わるような小学校低学年～中学年においては教え方が下手な担任に当たってしまうば不運で片づけられる問題ではありません。それを家庭に全て押し付けるのであれば、学校で「学ぶ」に対する存在意義が無くなってしまいます。教職員の学びも含め、一部外部委託することも検討価値があると思います。	③	いただいたご意見について参考にさせていただきます。静岡市では小学校高学年の教科担任制について、国の加配教員を活用しながら進めているところです。令和4年度は、英語力の向上を図るために、英語専科教員を増員することで、全小学校への配置が実現しました。今後も、子どもたちに寄り添った学校運営ができるよう工夫して参ります。
102	[⑭質の高い教職員の確保]	採用倍率も3倍を切る中、教職の魅力を感じられる働き方にし、教員の質を担保したい。	③	その他いただいたご意見についても、引き続き検討を進めていきます。
103	[⑭質の高い教職員の確保]	質の低下を実感しています。それを補う時間も人も不足しています。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
104	[⑭質の高い教職員の確保]	教職員の不足、質の低下は深刻である。教育振興基本計画の具現化を進めるのは、学校であり一人一人の教職員である。安定した人材確保ができるような財源の確保をお願いしたい。	③	本市の子どもの成長にとってよりよい環境の整備に努めてまいります。
105	[⑭質の高い教職員の確保]	全国的に教員不足や採用試験の受験率低下が問題となっており、欠員も生じているから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
106	[⑭質の高い教職員の確保]	指導者の力量以上の教育はできないとの観点から、豊かな人間性を持ち、深い受容力と多彩な対応力、先見性、実行力、何よりも人間そのものを多様に理解し、その子の将来をイメージしながら指導・支援を続け、子どもとともに伴走することができる指導者をできるだけ確保することは急務だと考えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
107	[⑭質の高い教職員の確保]	質の向上において、学校教育の多様化・複雑化・ニーズにより、これからの教育に応じた教員の配置数の拡大は重要です。項目14、15の施策に教諭の増員（正規）について、取り入れていただきたいです。	③	ご指摘の通り、教員不足については本市においても喫緊の課題ととらえております。子どもたちに対して、きめ細やかな教育が行えるよう、本市の子どもの成長にとってよりよい環境の整備に努めてまいります。
108	[⑭質の高い教職員の確保]	教職員の人材確保。教職の魅力の発信。教職員がやりがいを感じて職務につける制度、環境の充実が重要なため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
109	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	保護者目線では、熱量のある、全体と向き合ってくれる教員に期待したい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
110	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教職員の資質が向上することは、子どもが充実した教育を受けることに繋がると考えられるから。また、教職員が長時間労働で疲弊している等の状況があると、授業を受ける子ども達にも良い影響は与えないと思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
111	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	先生たちには、子どもの生活面でも丁寧に対応いただけるのでありがたいが、勤務時間外にも及ぶなど負担が大きいと思うから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
112	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教員を目指す方は、学生時代真面目な方が多かったと思うので、多様化する子どもたちの状況に対応しきれない方もきっといらっしゃると思います。そのような方々への指導やサポート体制が出来れば良いと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
113	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	これだけの素晴らしい教育計画が施行されていけば、反面あれこれと課題も増えていき、教職員の負担もそれなりに増えてしまわないか…そこは心配になります。長時間労働の是正、これは単に労働時間を短縮すれば済む問題でも無さそうですから、先生方の心身健全の確保も視野に入れ、考えていく必要があると思います。 教育は、受ける側と授ける側のバランスが大切ですので、先生方の教育しやすい環境づくりが子ども達のより良い教育につながるのではないのでしょうか。	②	教員が子どもの指導に集中できる環境を整えるために、教員でなくてもできる事務業務を担う教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を全校に配置しております。また、教職員を対象としたメンタルヘルス相談の実施やストレスチェックを踏まえた職場環境改善研修など、教職員の健康保持増進を図っております。
114	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教育が大きく変わろうとしている時なので、まず、管理職や指導主事が研修をきちんと受け、新しい教育の方向性を理解すべきだと思います。	④	管理職等への研修を推進し、新しい教育の方向性を理解を深めてまいります。
115	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	先生が元気で楽しくお仕事できるなら、子どもも元気、なのではと思う。 小学校でも各学年に、副担任がいてもよいと思う。 初任者の先生もまずは副担任から、でも負担がないように思う。	④	教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置により生み出された時間は、子どもと向き合う時間や教材研究等の時間に還元されております。小学校において副担任をおくことは、定数上難しいですが、初任者の教員の負担が軽減されるよう、各校において初任者指導の教員を配置し支援体制を整えております。
116	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教員の方の負担が大きいと、その皺寄せは子供に来てしまうので、働き方を考え直す必要があると思います。 特に現在の部活動のあり方では教員の負担が大きい為、指導者には部外の人間をボランティアで充てたり、市内の各場所で学区にとらわれず子どもたちを集めてそこで市が管理する人間に子供たちを教えさせる等の方法で、教職員と部活動を切り離す必要があると思います。	③	ご指摘のように学校だけが担う指導体制では、持続可能といえない状況です。地域の皆様のご協力を頂きながら地域に展開し、子どもたちにとって、健全な活動機会を保障していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。
117	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	子どもたちの心を育てるためには先生の心が豊かな必要があると思います。そのためには先生が働きやすい環境が必要だと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
118	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	子どもたちのもっとも身近な他人の大人として、憧れとなる姿を整えていくためには、資質の向上はもとより、心に余裕のある働き方が不可欠だと考えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
119	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教職員の働き方改革の推進で、公務支援システムの導入や教員業務支援員の配置等を行っており、時間外勤務時間を指標に成果が出ているようであるが、実際の所、現場の教職員がどれだけ子どもと向き合えるようになったのか、教職員のやりがい向上しているのか、本筋のところが見えてこない気がします。支援員等の配置もありがたいことではあるが、それよりも教職員の定数の見直し等を早急に行うことで、教職員の働き方改革に直結するように思います。	②	教員業務支援員の配置により、「子どもと向き合う時間が増えた」と実感している教員が増えているとの声が多く聞かれるようになりました。また、令和3年度末の調査によると、やりがいを感じている教員は、90%を超えております。今後も教員が「やりがい」をもって仕事ができる環境を整えてまいります。教職員の定数の見直しにつきましては、引き続き国に働きかけてまいります。
120	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教職員が、社会の変革に伴う、これからの教育「令和の日本型教育」や求められる資質・能力を理解する必要があります。多くの教員が、「部活動改革」などによる働き方改革で生み出された時間で、視野（見聞）を広げる機会を、自分の考えをつくる機会をつくるのが大切であると感じているので。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
121	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	学校の裁量や工夫だけで乗り越えても根本的な解決は難しいと感じています。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
122	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	教職員の余裕がない中では、子どもの教育の充実につながらないから	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
123	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	授業に対する高い意識を持った教員が少ない。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
124	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	質の向上において、学校教育の多様化・複雑化・ニーズにより、これからの教育に応じた教員の配置数の拡大は重要です。項目14, 15の施策に教諭の増員（正規）について、取り入れていただきたいです。	③	ご指摘の通り、教員不足については本市においても喫緊の課題ととらえております。子どもたちに対して、きめ細やかな教育が行えるよう、本市の子どもの成長にとってよりよい環境の整備に努めてまいります。
125	⑮教職員の資質向上と働き方改革の推進	社会情勢が以前よりも短期間で変化しており、柔軟に対応できる大人がいてこそ、たくましくしなやかな子どもたちの育成ができると思うため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
126	⑯地域と協働した学校の運営	小中一貫教育は、教育(学校側)が推進しているものの、地域や保護者が追いついていない。さらなる理解促進をしてほしいから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
127	⑯地域と協働した学校の運営	私の身近にスーパーボランティアとして活動する、元小学校教員の方が何人かいます。その方々はとてもやる気に満ち溢れているので、そのような方々にもっと頼って、さらに教職員と児童生徒にとって自由度の高い学校を運営できれば良いと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
128	⑯地域と協働した学校の運営	学校教育、学校運営を学校の職員だけで考えるのではなく、地域の子どもたちをみんなでどう育てていくのか、議論する場が必要だと思います。	③	本市では、令和6年度を目途に全中学校区にコミュニティ・スクールを導入できるよう取り組んでいます。導入の際に設置する学校運営協議会は、学校運営等の方針を熟議・協議する場として、学校関係者だけでなく、保護者や地域の方々にも参画していただいています。引き続き、コミュニティ・スクール導入を推進していき、学校・家庭・地域の連携・協働で子どもたちを育てる「地域総がかりの教育」の実現に努めます。
129	⑯地域と協働した学校の運営	地域の住民として少しでも協力していきたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
130	⑯地域と協働した学校の運営	核家族化により各世代と子どもとのつながりが希薄となった現代において、広い世代と交流を持つには地域が連携して教育に協力することが効果的だと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
131	⑯地域と協働した学校の運営	放課後や休日の児童の居場所を、地域の人たちの居場所とともに作っていくことで協働の足がかりにしていくことができると思う。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
132	⑯地域と協働した学校の運営	市内においても地域によって連携の実態に格差が見られる	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
133	⑯地域と協働した学校の運営	学校のみで教育に取り組むのはもはや限界がある。学校の運営だけでなく、教員が外に出て学ぶことも必要。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
134	⑯地域と協働した学校の運営	静岡型小中一貫教育の行く末はどの学校も施設一体型一貫校となることを目指していると高木教育長の時代から聞いている。山間部のみならず、地域が前向きに意欲を示している安倍川中学区をまずロールモデルとして、市街地にも手を付け、浜松や磐田に負けず全県全国にアピールする小中一貫校の設立を期待するため。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
135	⑯地域と協働した学校の運営	コミュニティスクールを推進していくためには重要な取組であるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
136	⑰学校の適正規模化	本市においても少子化が加速し、山間地域のみならず市街地においても過小規模校が生じていることから、子どもたちが切磋琢磨できる教育環境（子どもファースト）を第一に考え、一定の集団規模を確保するためには地域や保護者と共に適正規模・適正配置を進めていく必要があるから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
137	⑰学校の適正規模化	学校の規模や学級の人数によって教育の質が偏ることがないよう、適正な教育環境の整備を進めてほしいと思ったため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
138	⑰学校の適正規模化	・静岡市は中山間地域が大きく、少子高齢化の時代にこれら地域の学校配置は難しい問題であると思うため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
139	⑰学校の適正規模化	少子化が急速に進む中、教育環境の整備のためには地域や保護者と連携して適正規模化に取り組むことが必要だと感じるため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
140	⑰学校の適正規模化	極小規模校の今後の方向性を考える必要があるから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
141	⑰学校の適正規模化	小規模校化する学校では、小規模校のよさを生かした学校運営を心掛けているが、限界もある。適正化の必要性について、学校からは発信しにくい。教育委員会の手動があれば心強い。	②	平成28年9月に策定し、現在改定作業を進めている「静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針【R5.3改定版】」では、今回の改定において「適正規模・適正配置に取り組む学校の優先度」の考え方を示しています。今後も、保護者や地域住民の方の理解を得ながらも、教育委員会として適正規模・適正配置を推進していきます。
142	⑰学校の適正規模化	少子化が進み、小規模校が今後増えていくため、小中一貫、CSに絡め、校区の再編成も含めて、小中一貫施設言一体校の整備を行っていく必要があると考える。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
143	⑰学校の適正規模化	30人学級を望みます。35人は多い。	③	ご意見をいただきありがとうございます。静岡市では、国に先駆けて全小中学校において35人以下学級を行ってまいりました。今後も、子どもへの細やかな目配りと充実した授業が行えるよう適正な学級規模の検証を行い、環境整備に努めてまいります。
144	⑰学校の適正規模化	静岡型小中一貫教育の行く末はどの学校も施設一体型一貫校となることを目指していると高木教育長の時代から聞いている。山間部のみならず、地域が前向きに意欲を示している安倍川中学区をまずロールモデルとして、市街地にも手を付け、浜松や磐田に負けず全県全国にアピールする小中一貫校の設立を期待するため。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
145	⑰学校の適正規模化	少子化にともなう小規模校の充実した教育活動を推進していくため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
146	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	子どもたちが、地域の大人たちと関わったり、色々な話を聞いたりすることで、子どもたちは地域の良さを知り、地域の大人たちが自分たちのことを考えてくれていることを知ることができる。地域の大人に愛され育まれる子どもたちは、地域に愛着をもち自己高揚感も高くなると思う。義務教育中に地域で土台を作り、やがて日本国中、また世界で活躍するような大人になって欲しい。そして地域が困っている時には、知恵や力を貸してくれる人材になってくれたらどんなにかいいだろう。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
147	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	上でも書きましたが、スーパーボランティアの活躍の場を増やせばさらに子どもたちの学びの機会が増えると思います。子どもたちにとっても、そのような地域の方との交流は勉強面だけでない成長に繋がるのではないのでしょうか。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
148	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	学校での集団学習が困難な子どもたちがいる。発達障害等の窓口はあるが、人間関係や環境要因で悩む子が積極的に自分の道を探して学びを止めない主体があるとありがたい。	②	子どもが人間関係や環境を要因とする悩みを抱えた場合の窓口として、教育委員会では児童生徒支援課が対応します。様々なニーズへの対応を充実させるために、児童生徒支援課の事業としてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを学校へ配置し、学校生活上の諸問題の背景にある環境の整備及び改善を図ることを目指しています。 そのほか、子ども未来局青少年育成課子ども若者相談センターでは、「こころのホットライン」を設置し、友だち関係・勉強・進路など、学校や家での悩みごとについて、子どもや保護者からの相談を受け付けております。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
149	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	静岡市は、小中一貫やコミュニティスクール化に向けた施策を実施している。子どもたちの教育を、学校だけでなく、地域や企業など、多くの主体と連携して実施していくことが必要。	③	本市では、令和6年度を目途に全中学校区にコミュニティ・スクールを導入できるよう取り組んでいます。導入の際に設置する学校運営協議会は、学校運営等の方針を熟議・協議する場として、学校関係者だけでなく、保護者や地域の方々にも参画していただいています。引き続き、コミュニティ・スクール導入を推進していき、学校・家庭・地域の連携・協働で子どもたちを育てる「地域総がかりの教育」の実現に努めます。
150	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	社会に目を向けた学びの必要性を感じているから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
151	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	地域コミュニティの希薄化により子どもたちが他年代や多文化に触れる機会が減少していると思われるため、学業以外の機会によってより豊かな学びにつながるのではないかと思います。	②	本市では「地域学校協働活動」を推進しており、活動の中で他学年や地域住民との交流の機会をつくり、学校での教育活動以外の体験や学びの場を提供しています。今後も継続して実施することで、地域全体で子どもたちの健やかな育成を図ってまいります。
152	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	地域との協働は重要であるが、そのための人材の確保が重要である。例えば、放課後子ども教室については、現在は、有志による活動によって支えられているが、なかなか新しいメンバーが増えず、特定のメンバーで運営が続けられているケースも散見される。持続可能な活動にするためには、地域住民の善意に頼るだけでは限界がある。学校あるいは教育委員会も、人材確保に向けた呼びかけや謝金等の充実による環境整備に、より積極的に関わっていく必要がある。	②	「地域とともにある学校」を目指すコミュニティ・スクールと「学校を核とした地域づくり」を目指す地域学校協働活動の一体的な推進への取り組みを通して、地域人材の発掘・確保・育成がこれからの大きな課題であると認識しております。年間を通した人材養成講座の実施、学校と連携した人材の発掘、PTAや自治会への周知、地域人材同士のつながりをつくり資質向上を図る研修会の開催などに今後も注力していきます。
153	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	子どもたちに総合的な学力を身につけさせていくには学校だけではペースが足りないと感じます。学校外の様々な力を利用していくことは大事です。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
154	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	CS導入の目的、意義は、学校、地域、家庭との連携と同時に役割分担であると考えます。「役割分担」とはそれぞれの立場でその責務を果たすこと、子どもの成長のために家庭・地域の果たす役割について具体的に示していきたい。	③	いただいたご意見のとおり、学校と地域の連携・協働を安定的・継続的なものにしていくためには、地域の実情に応じた弾力的な組織づくり・ネットワークづくりによる「役割分担」が大事だと考えています。学校と地域の会合等で説明したり、好事例を紹介したりしながら、学校・家庭・地域それぞれの役割について周知を図っていきます。
155	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	学校教職員だけでなく地域や社会の中で活躍している人に授業に参加してもらい、その交流の中で子どもたちが視野を広げられると思ったから。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
156	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	⑭、⑮の解決策の可能性として、学校が担う役割を多様な主体によって分散することが有効かもしれません。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

本市教育委員会として、今後ますます力を入れて取り組むべき項目（3つまで）と、その項目を選んだ理由は何ですか。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	項目	理由	区分	対応
157	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	多様性が進み、個をより尊重する時代となり、集団の重要性も加味しながら教育を進めるためには、多様な人やもの、ことと触れる機会をできるだけ創出することが必要と考えます。そのため、学校だけが子どもの教育に関わるのは限界があり、多様な主体との連携の仕組みを構築する必要があると思います。地域の活性化にもつながると考えます	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
158	⑱学校と多様な主体との連携による子どもたちの学びの支援	子どもの頃から、様々な経験をすることにより、考え方の幅が広がる。学校のみでその経験の場を用意することは不可能であるため、できるだけ多くの人や団体、企業と連携することで、世界の広さを感じてほしい。	②	地域住民や学生、保護者、NPOや民間企業、各種団体等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域総がかりの教育」の実現を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進に今後も継続して取り組んでいきます。
159	⑲人生100年時代を支える豊かな学びの充実	・学問だけでなく、長い人生を過ごすための知恵を身に付けることも学生時代の大きなテーマだと思うため。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
160	⑲人生101年時代を支える豊かな学びの充実	計画案では社会教育への取り組みが少なく残念です。第2期計画期間における図書館や生涯学習センター、博物館などの取り組みを精査し、振り返りや今後の計画に反映してほしいと思いました。	④	社会教育を含む生涯学習施策につきましては、市民局生涯学習推進課が所管する「第3期静岡市生涯学習推進大綱」において、市長部局を中心に取り組んでいきます。
161	⑲人生102年時代を支える豊かな学びの充実	⑱と関連して、多様な主体との連携システムを構築することが持続可能な地域づくりにつながり、一生涯学び続け、自らの力を発揮し、人づくりや社会づくりを支える担い手を一人でも多く育てることが、人生100年時代を築く根幹だと考えます。そんな豊かな学びが子どもも大人もできる仕組みづくりが必要かと思えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
162	⑳その他	環境の整備 →トイレが汚くて学校行きたくないそうです、かわいそうです。	④	校舎内トイレの洋式化、床の乾式化、内装改修、給排水設備の更新等を行うトイレリフレッシュ事業を順次実施しております。今後も引き続き、事業の推進を図ってまいります。
163	⑳その他	日本の歴史や愛国心を育てる教育を充実させて欲しい。 →母国のことや静岡のことを自分の言葉で話さないと、外国語を話せたりIT技術に通じていてもグローバルに活躍できる人材にはならないと思う。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
164	⑳その他	「学校の当たり前」を改善していく検討会 →子どもたちが、たくましく、しなやかな大人に成長するためには、学校として前例や慣習に囚われることなく、物事の真理やあるべき姿を子どもたちに考えさせる環境づくりを進める必要があると考えるためです。	④	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
1	小中一貫教育を順調に進めるためには、学区再編が欠かせないと思います。総合的な議論をして欲しいです。	③	ご意見は、今後の施策や事業検討の際の参考とさせていただきます。
2	<p>・施策19 高齢者学級、家庭教育学級、女性学級の開催とありますが、女性学級はどんなことに取り組んでいるのでしょうか。現在、働いている女性も多く参加することは、難しいのではないのでしょうか。時代に合った学級に変化させても良いと思いました。高齢者学級は、とても良いと思います。高齢者の方々は、新しいことに興味をもち仲間が増えることが元気でいられることに繋がると思います。このような学級が、今後、中学校区の空き教室などで行われたり、中学校の授業で、地域の方が学びに来てもいい内容の授業があったりすれば、近隣の方が行きやすいだろうなと思います。学びたい大人が自然と学校に入り、子どもたちの様子を見れるので、学校に理解が深まることになると思います。</p> <p>・施策17 中山間地域の人数の少ない学校について対策をとらなければいけないことは、よく分かります。しかし平地でも、過小規模、小規模校の学校が増加しています。そのような学校でも子どもたちは切磋琢磨できずにコミュニケーション能力に長けていない子たちが増えていきます。そういった学校への検討をお願いします。その地区の保護者と地域住民の意向も聞いて欲しいです。</p> <p>・普通教室にエアコンがついたことは、子どもたちが学習するのに、とてもいい環境になりました。小中学校の特別教室や別室登校する子たちいる教室にエアコンが入っていません。近年、小中学校で別室に登校する子どもたちの人数が増えていきます。普通教室にいる子たちと同じように快適な環境で過ごすことができるように、エアコンの設置をご検討ください。</p>	②	<p>女性学級では、男女共同参画などの現代的課題から女性特有の健康問題などまで今の女性が必要としている内容をテーマにした連続講座を開催し、女性のための学習の場と仲間づくりの機会提供に取り組んでいます。</p> <p>今後の運営にあたっては、時代の変化やニーズに対応し、対象者が参加しやすい時間帯や内容を検討しながら取組を進めていきます。</p> <p>平成28年9月に策定し、現在改定作業を進めている「静岡市立小・中学校の適正規模・適正配置方針【R5.3改定版】」では、今回の改定において「適正規模・適正配置に取り組む学校の優先度」の考え方を示しています。</p> <p>「子どもの学びや成長の観点（子どもの人数）」を最優先に考え、「アセットマネジメントの観点」、「地域・保護者等の要望や合意状況」を踏まえて適正規模・適正配置に取り組んでいきます。</p> <p>エアコンの設置については、児童・生徒の健康のため、そして学習しやすい環境づくりのため、引き続き、特別教室や別室登校の児童・生徒が過ごす教室への空調設備導入の検討を進めてまいります。</p>
3	<p>・部活動改革では、民間のクラブへ行かなくてもある程度の競技力の向上が望めるよう環境整備や指導員の質が向上していけば、部活動に参加する生徒のモチベーションも向上し、地域の活性化にもつながるのではないかと思います。また、経済的な理由等で参加できない生徒や、やりたい種目を諦めなければいけない生徒が出ないような配慮・サポートも大切だと思います。</p> <p>・ニュースポーツはまだ認知度が低いものが多いと思うので、学校の授業で取り入れて子どもたちに体験する機会を設けることで、認知度や関心も高まってくるのではないかと思います。</p>	③	できる限り学校規模や家庭状況に左右されずに、子どもたちの活動機会を保障できるよう努めて参ります。
4	これらの計画や取組みなどが保護者や静岡市で子育てをしている人、地域の人など、もっと多くの人に広まったら安心感につながるのかなと思いました。	②	第3期静岡市教育振興基本計画及び概要版のほか、毎年度、作成している静岡市教育委員会の主な取組を掲載したパンフレットを市ホームページへの掲載や、市所管施設や関連施設へ配架するなどして、情報発信に努めていきます。
5	取りこぼさない、すべての子どもが幸せを感じられる教育を推進いただけることは保護者としてこの上ない喜びです。一度に全部は無理でも、方向性を一緒に考えていく事が大切ですので、これからも協議をさせていただけたら幸いです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
6	<p>・変化の激しい予測困難な時代に生きていく子供たちに、実社会の課題をいかに自分事化できるか、課題を見出し、他者と協働していかに最適解を見つけることができるか、新たな価値あるものを創造していくことができるか、そして、自分たちには社会を変える力があるという自信や自己肯定感をいかに育てるかということは、今の待ったなしの課題です。そのためにも、学校は子どもたちが主体的に学べる場となり、問題解決に向けて主体的に考えたり行動したり、多様な人と対話して協働したりする力を育む「授業」の転換が求められると思います。</p> <p>・生徒指導提要も改定され、教員の子ども観も転換すべきときです。部活動改革もルールメイキングもコミュニティ・スクールも働き方改革もICTの推進も全て繋がっています。静岡市として、今後の学校のあり方をどう考えるか、明確に示した上で地域にも保護者にも周知していく時だと思えます。「だから総合的な学力とはこんなことを言う」「だから今までとは授業をこう転換していく」「だから校則は子どもと合意形成明確に示した上で見直すべき」「だから地域と協働する」「だから働き方改革が必要」などということがわかる、大元の方向性を示したリーフレットなどがあると、各施策も浸透しやすいと思います。</p>	③	<p>第3期静岡市教育振興基本計画及び概要版のほか、毎年度、作成している静岡市教育委員会の主な取組を掲載したパンフレットを市ホームページへの掲載や、市所管施設や関連施設へ配架するなどして、情報発信に努めていきます。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p>

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
7	先生方はとても一生懸命やったださっていると思います。 静岡市は問題山積なのはわかりますが、あれもこれもで特色がないように感じます。 予算が足りない分はボランティアに…等が多くで感ぜられます。 子ども達に主体性を求めています、大人が入りすぎかと思う部分もあります。子ども発の「こうしたい、だから大人に手伝って欲しい」的な場面は少ないと思います。子どもの為なら！と動いてくれる大人はまだ多いと思います。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
8	10年先を見た改革や計画を策定してほしい。8年間の計画、2030年まで続くのだから。 小中一貫やCS、学校施設の改善など、組織や外側の整備は着実に実行してくれている。また、外国語学習充実のための取組や部活動改革などの取組も理解できる。しかし、目指すべき教育の根本についての施策が見えない。学校は、具体的にどこに向かうのかが分からない。	②	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
9	より良い静岡市にするために是非とも実現をお願いします。	④	ご意見ありがとうございます。
10	方向性の1～4を客観的に見た際に、記載内容のバランスが少し気になりました。(ボリューム等)	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
11	静岡市の未来を担う子どもたちの育成に向けた方向性や取組が、様々な視点から漏れなく取り上げて推進しようとしているところが評価できる	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
12	トイレの洋式化のような具体的計画だとわかりやすい。	②	ご意見ありがとうございます。
13	頑張ってください！	④	ご意見ありがとうございます。
14	第4次静岡市総合計画と同期で取組む教育振興基本計画の理念は、教育大綱として静岡市の教育行政を網羅し、静岡市でくらす子どもたちが、静岡市民としていきいきと輝き成長していくことだと感じております。 策定にあたっては、教育行政に従事される皆様の多大なるご尽力が必要になるものと拝察いたしますが、この計画が教育行政の隅々まで浸透し、静岡市の教育行政がより良いものになることを心から祈念いたします。	④	ご意見ありがとうございます。
15	教育が豊かな市にしてください。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
16	現在は東京に住んでいますが、いつか子供が静岡市の教育にお世話になると思うので、静岡市で教育させてよかったと思える環境にさせていただけると幸いです。	④	ご意見ありがとうございます。
17	教師の働き方改革について、見かけ上長時間労働は削減されているが、実際自宅にてテストの作成、採点、成績評価、資料作成などを行っている実情がある。タイムカードを押した後の業務という点でより根深く悪質である。そういうものの負担を軽減するための施策が何ら盛り込まれていない点で不満である。	②	令和4年度より施行された「学校における働き方改革」の新プランでは、PDCAサイクルの考えに基づき、有識者の意見を参考にしながら、評価検証を行い必要に応じて見直しを図ってまいります。また、学校及び教員が担う業務の適正化についての検討および見直しを進めてまいります。

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
18	<p><学校図書館教育推進事業について></p> <p>●「学校司書の全校配置」や「学校図書館の高度化平準化」が取り上げられているのは評価できると思いました。一方で全体に学校図書館の認識が古く、すでに実施されている現在の取り組みにあっていない部分があると思いました。</p> <p>●第2期期間中に学校司書の勤務時間が4時間から5時間に延長されたことを評価します。</p> <p>計画案には「学校司書の全校配置」とともに、現在の学級規模による勤務日数の格差の是正や有資格者の採用など、「専任・専門・正規の学校司書の全校配置に向けた待遇改善」を明記してください。</p> <p>●P.9「第2期の計画の振り返り」では「（6）学校図書館の充実 司書教諭や学校図書館担当者の補助者である学校司書を、令和元年度（2019年度）から、市内全校に配置しました。」とあります。学校図書館法の改正により学校司書は法制化（努力義務）され、文科省においても「専門的知識と技術の有する専ら学校図書館に関する業務を担当する職員」という認識です。静岡市においては学校図書館支援室が設置され学校司書の横のつながりやレベルアップを図っていますが、「補助者」という認識でよいのでしょうか。このような認識を全国に発信することは、静岡市の学校図書館や学校司書に対する見解が遅れているとみなされ、現場や担当課のこれまでの努力と成果が反映されていないことが非常に残念です。「司書教諭や学校図書館担当者の補助者である学校司書」を「学校図書館サービスを日常的に担う学校司書」と書き換えてください。</p> <p>●第2期計画期間の学校図書館施策の一番の成果である「学校図書館支援室の設置」が記されていません。「学校司書の全校配置」や「学校図書館の高度化平準化」の推進機関である支援室への言及がないのが疑問です。「振り返り」に実績とともに明記してください。</p> <p>●計画の方向性において、ICT教育・GIGAスクール構想における学校図書館の活用への意識が薄いと思いました。</p> <p>すでに学校図書館支援室ポータルサイトでは「学校図書館はすべての教育活動の基盤～心の居場所」「そうだ パソコンをもって学校図書館にいこう」という方向性が見られ関連の研修も実施されているようです。さらに8月には文科省もこの件について「GIGAスクール構想と学校図書館に関する文科省通知」を出しています。学校図書館は学校の情報拠点であり、教育DXの推進に重要な役割をは果たすことを明記してください。さらに学校図書館の通信環境の整備、情報教育と連携した情報リテラシー教育の推進などを加えてください。</p> <p><教育DXの推進について></p> <p>本編には「デジタル・シティズンシップ教育（情報モラル教育）」と記述され、両者を同一視しています。情報モラル教育は「情報倫理や情報への態度を養う教育」であり、デジタル・シティズンシップ教育は、「デジタル技術を利用して、責任ある市民として社会参加するための知識や能力を身につけるための教育」と言われています。計画案の「静岡市民を育てる教育（シティズンシップ教育）」の施策との関連からみても、（情報モラル教育）は意味合いが異なるので削除してください。</p> <p>また、計画案には「行動規範等を学ぶ」とあり、シティズンシップ教育のとらえ方が狭いように思われます。「自ら学び、創造し、社会参加するために責任を持ってデジタル技術を使う行動規範等を学ぶ教育」を「自ら学び、創造し、他者と協力して、社会参加するために責任を持ってデジタル技術を使う知識や能力を身につけるための教育」という内容に改めてください。</p>		<p><学校図書館教育推進事業について></p> <p>「第2期の計画の振り返り」に関して、ご指摘にありますように、学校図書館支援室の設置や取り組み内容を加え修正したいと考えております。また、「司書教諭や学校図書館担当者の補助者である学校司書」という部分に関しては、平成元年度より募集案内やガイドラインにおいても「補助者」という考えではなく、「司書教諭や学校図書館担当者と連携・協力し学校図書館業務に従事する者」と捉えておりますので、ご意見を参考にしながら修正を加えたいと考えております。</p> <p>「計画の方向性」に関して、子どもの主体的で多様な学び方に対応し、心の居場所となり得る学校図書館にするためには、継続的な学校司書の配置と教員及び学校司書への研修の充実は欠かせないと考えております。学校司書の配置につきましては、小中一貫教育や学校の統合等の動向と合わせて検討や改善を進めると共に、学校司書の資質向上を図るために、読書活動や授業支援等の新しい情報をポータルサイトで提供・更新しつつ、研修の充実に努めていきます。</p> <p>また、教育DXの推進に関わる部分について、ご意見にありますように、学校図書館活用とICT活用を統合した授業を推進する内容や情報リテラシー教育の推進等に加え、反映させていきたいと思えます。なお、学校図書館の通信環境の整備については、すでに特別な事情を除き、全ての学校図書館のWi-Fi環境は整備されております。</p> <p><教育のDX推進について></p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>計画案に示された内容については、いずれも重要なものであり賛同する。ただし、冒頭で述べたように、その中でも重点的な項目を明示して、予算面でも人材面でも限られた資源を重点的に振り向ける方が、それぞれの課題が中途半端になることもなく、逆に計画を進めやすいのではないか。</p>	②	<p>第5章に計画期間内に重点的に取り組む事項について示しております。また予算には限りがあることから、時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。</p>
20	<p>・方向性1の主な取組の「学校におけるICTの活用」については、教員間のICTスキルの差が生じているところまで分析ができていのであれば、さらに踏み込んで「授業及び教員－生徒児童のコミュニケーションツールとしてのICT活用」のような取組みと、「教員のICTツール活用能力の向上」のような取組みを入れてはどうでしょうか。</p> <p>・方向性4「地域全体で学び合い協働する環境づくりを推進する」の主な取り組みにおいて「女性学級の開催」が挙げられていますが、女性に特化する名称、内容は多様性の観点に反すると感じます。「女性」という一部分をとらえたものではなく、多様性を学び受け入れる内容にするほうが適切ではないでしょうか。</p>	③	<p>方向性1についていただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>方向性4についていただいた意見についてですが、女性学級では、男女共同参画などの現代的課題から女性特有の健康問題などまで今の女性が必要としている内容をテーマにした連続講座を開催し、女性のための学習の場と仲間づくりの機会提供に取り組んでいます。</p> <p>ご意見を参考に、女性学級だけでなく生涯学習事業を含めた中での今後の運営の参考とさせていただきます。</p>

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
21	計画が計画のまま8年過ぎ去らないように、必ず検証制度を設けてほしいです。また、この計画自体を知らない子供をもつ家庭の方が圧倒的に多く、知っていたとしても「発言しない」「興味がない」は市に向けて実現されない諦めの気持ちがあるからだと思います。この教育計画に限らず、子育て環境が改善された実感できるものは無く、子供を産み育て地域に根差す理想は計画と理想像を語るだけで終わっているように感じます。	②	本計画の進行管理として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、本計画の各施策に位置付けた事務事業において、取組状況や有効性の観点から毎年度点検・評価を実施しています。 点検・評価では、計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じて計画内容や事務事業の見直しに反映することで、効率的で効果的な教育の実現を図っています。 なお、点検・評価は学識経験者の知見を活用して実施しており、毎年度市議会に提出するとともに、一般へ公開しています。
22	学校で頼まれてアンケートに参加させて頂きましたが、静岡市民でないのにアンケートに参加しても良かったのでしょうか？	④	ご意見ありがとうございます。
23	<p>1 第4次静岡市総合計画について</p> <p>11月市議会で採決された本計画では、第5章分野別の政策 2 子ども・教育に</p> <p>○政策1 自らの力で豊かな未来を切り拓くことができる子ども・若者を育成します</p> <p>○政策2 子ども・若者が誰一人取り残されず成長できるよう支援します</p> <p>○政策3 「しずおか総がかり」で子ども・若者・子育て家庭を支援し、子どもを生み育てやすいまちづくりを推進します</p> <p>○政策4 信頼される保育・教育環境づくりを推進します</p> <p>と示されています。</p> <p>教育委員会だけでは進められない課題や取組です。「横断的に取り組む」とも明示されていますが、組織と後の計画立案されての提示です。市民には分かりにくいものになっています。4月には「子ども・家庭庁」がスタートするようです。子育てとも関連して構想し、市民が安心できるように提示して欲しいと強く願います。</p> <p>2 子ども育ち・子育て支援と方向性や取組を一貫させて示して欲しい。</p> <p>「幼児教育の充実と幼小連携の推進」は、施策⑥の1項目目に示されています。しかし、文科省が示している「幼保小の架け橋プログラムの作成」の文言は見えません。市内では小学校と連携したいと願っている幼児教育機関がたくさんありますが、小学校側への関心が低く実現につながっている地域や学校は限られています。小中一貫教育の弊害かもしれません。幼児教育から連続した力を育てていくという発想をもっと打ち出しながら、幼小接続について「架け橋期の充実」を明確に打ち出して、幼児教育から高等学校まで静岡市が大切にしていこうとする「探究力」でつなげては如何でしょうか。安心して子育てができることにも繋がり、静岡市を愛する市民づくりにもつながるのではないかと考えます。</p> <p>3 4年後の評価への見通し</p> <p>本計画は8年間をスパンとして、中間の4年目で評価・改善を計画してるようです。しかし、計画案では4年後にどのような評価をしようとするのかは示されていません。「第2節 第2期計画の振り返り（主な取組と成果）」においても評価があいまいなものがある様に捉えました。また、第2期でも当初から評価の方法は示されないまま進められてきたのではないかとも思われます。勿論教育は数値だけでは示しにくいことは承知していますが、工夫は必要です。4年後の点検に耐えられるようにしておくべきです。具体的は手法を示しておいてほしいと考えます。</p>	② ③	<p>1、本計画では、第4次総合計画と連動しつつ、子ども子育て分野とも連携し、取組を進めていきます。</p> <p>2、いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>② 3本計画の進行管理として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、本計画の各施策に位置付けた事務事業において、取組状況や有効性の観点から毎年度点検・評価を実施しています。</p> <p>③ 点検・評価では、計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じて計画内容や事務事業の見直しに反映することで、効率的で効果的な教育の実現を図っています。</p> <p>なお、点検・評価は学識経験者の知見を活用して実施しており、毎年度市議会に提出するとともに、一般へ公開しています。</p>
24	無駄な感染対策は止めて欲しいです。 また、宿題の量が多く、親が手伝わなければならない仕組みになっており、親、子供共に負荷が大きいと感じています。 私は学力よりも、自ら考え、主体的に行動する方に教育の力を入れて頂きたいと考えています。 子供、親、教師、全員が出来るだけ負荷が減るなら、学力は下がっても別にいいと思っています。 よろしく願い致します。	③	<p>学校では、子どもの健やかな学びの場を確保しながら、感染症対策として、3つ密の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気などの基本的な感染対策に継続して取り組んでいます。今後も、子どもたちの安全・安心を確保し、保護者の理解と協力を得ながら、感染対策に努めていきます。</p> <p>また、子どもたちが自ら考え、主体的に学習に取り組めるような課題について研究を進めて参ります。</p>

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
25	不登校対策の推進については、適応指導教室、訪問支援、対応研修プログラム等の対策が講じられるが、一度不登校になった児童生徒の改善については、どの学校も困難さを感じている。生徒指導提要（改訂版）10章不登校では、未然防止の観点からの「魅力ある学校づくり」とセットでの施策が述べられている。未然防止の意味を再度、確認され、「減らす」→「増やさない」という視点での取組を重点とすべきである。なぜならその対象は、全校児童生徒になるからである。不登校の状況にある子どもは教育の機会均等法に基づき学校以外での機関も含めた居場所づくりを行うべきと考える。更に申し上げれば、臨床経験豊富な某医療機関のドクターは、不登校が要因で自立できない子どもはいない、むしろ不登校をきっかけに家庭環境の悪化（親子関係の確執）の方が、発達において大きな悪影響を与えている、と述べている。不登校のアセスメントをきちんと行い、学校集団復帰がタイミング的に適切かどうかを見極め、組織体制で児童生徒及びその家庭を支えていくことが重要だと考える。 また、本市の不登校施策の中心は、児童生徒支援課なのか子ども若者相談センターなのか、と思う時がある。他都市では、適応指導教室を抱えている所轄センターが不登校対応を実施している。本市は、児童生徒支援課は、データの集積、SC活用等を行っているが、相談業務は子育て支援課と混在しているように感じる。外部機関との連携も含めて管轄を一本化すべきだと考える。	③	児童生徒支援課では、新規不登校数を抑制するためにスクールカウンセリング事業や教育相談員事業を展開するとともに、生徒指導担当者会においても、学級・学年経営を充実させ、「居場所づくり」「絆づくり」を推進するよう協議し、周知しております。児童生徒の様子やその背景にある家庭の様子も含めた、的確なアセスメントをきちんと行い、今後も対応を進めてまいります。 また、本市では乳幼児期から学童期を経て青少年期に至るまで切れ目なく支援するために、福祉と教育の各部門との連携のもとに総合的、横断的に相談を受け付ける機関として子ども若者相談センターを設置しております。 一方、市内でも、様々な形態で民間の事業所等がフリースクール等民間施設を運営しています。そこで、学校・行政・フリースクール等民間施設がどのように連携していくことができるか、不登校児童生徒の支援のあり方について検討する準備に入っております。 今後も、不登校施策について児童生徒支援課と子ども若者相談センターが連携して取り組み、引き続き支援に取り組んでまいります。
26	実際の教育現場に身を置く中で、教員の価値観も多様化しているように感じる。そのような中で、校長でさえも「こうしていこう」という方向性を示すことが臆病になったり、方向性のすり合わせを難しいと考えてしまったりして、子どもたちには対話的な学びを創造する一方で、教員間の肝心な部分での対話が不足しているような気がします。対話の充実が、我々教員にとって魅力的な、授業づくり、学級づくり、学校づくりが活性化すると考えます。 特に、中学校は、部活動改革が進み、小学校同様、教員が放課後を部活動以外に活用できるようになる。【基本的な方向性3】（P56）に、「子どもと向き合う時間や教職員の見聞を広める時間を創出することで、教育の質を高めるなど、魅力ある教育環境を整えていく必要がある」と示されていますが、部活動改革を土台の部分環境整備とするならば、教育の質の向上＝全ての教員の資質向上を目指す『柱となる新たな改革』を考える必要を感じます。経年研修や教科指導力向上ではなく、より教員の主体性や協働性が発揮できる取組や研修システムの構築を期待したいです。 部活動改革が進み、多くの中学校の教員が部活動から距離を置くことができるようになったときに、子どもたちのためにと注いだ部活動への情熱が、そのまま子どもたちのためへの学びづくり、集団づくりの注ぐことができるよう、仕掛け、システムの構築を具体的に示す必要を感じます。その仕掛けやシステムの中で、教育現場で、教員同士の対話が増えることが、教育の質の向上＝全ての教員の資質向上につながると感じます。	③	本市では、「たくましくしなやかな子どもたち」を育成するため、目指す教師像を「教育にひたむきな教師」としています。 学校教育は、技術の発達や新たなニーズ、災害や感染症等の不測の社会的危機との遭遇など、急速に進行する多様化に対応していかなければなりません。このような状況において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続ける教師であるためには、教師が心身ともに健康を維持し、教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図る姿が求められます。 教師が、子ども一人一人の発達を支え、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たせるよう、令和3年1月に示された「令和の日本型学校教育 答申」に基づき、育成指標の見直しを進めると共に、「学校における働き方改革プラン」を推進しつつ、多様なニーズに対応した研修の機会を設け、教職員の自己研鑽の場を確保して参ります。 また、校長のリーダーシップのもと学校教育目標の実現に向け、学校組織全体で協働的に自校の課題に向かい、その成果を教職員間で共有し、効果的な学校教育活動につなげることができるよう、管理職研修の実施や学校訪問等を通じた支援も進めて参ります。
27	教育の不易と流行をバランスよく捉えて、教育行政を推進していただきたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
28	国でも異次元の少子化対策を掲げている中、教育への予算の拡充は必須である。山梨県でも県独自に25人学級を進めていることから、市独自措置として少人数学級あるいは教員増を強く望んでいる。	③	教職員の人数は、児童・生徒数に応じて国の義務標準法に従って決定されております。静岡市では、国に先駆けて市費単独負担として全小中学校において35人以下学級を行ってまいりました。今後も、子どもへの細やかな目配りと充実した授業を行うことができるよう、適正な学級規模の検証を行い環境整備に努めてまいります。
29	以前、兵庫県明石市の教育行政の施策を見て、こんなことができるのかとびっくりしたことがありました。 学校現場も子ども達や将来の静岡や日本のために全力で「たくましく、しなやかな子どもたち」を育てていきたいと思えます。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
30	計画の策定にあたってのページに「様々な方々の主体的なかかわりを必要としています」という一文があるが、本当にその通りだと思う。学校現場で日々、子どもと向き合っている教職員は静岡市の職員であり、静岡市の子ども育成にあたってという自覚と責任を持つべきである。そうあるためには、自分たちが頑張っていることが市の教育行政に貢献しているという手ごたえ、市の職員として大切にされているという安心感が必要だと思う。学校教育を充実したものにするための予算拡充を期待します。	②	予算には限りがあることから、時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。
31	予算が必要ではありますが、市の人口が減少している今、移住を検討されている方たちが、「静岡市は他市より教育にお金をかけているね、住みやすい」と思っただけのような目玉の施策があると良いと思います。（例）全国トップレベルの静岡市型少人数学級、全教室（特別教室含む）・体育館へのエアコン、Wi-Fi環境の整備	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
32	計画案は、とても良いと思う。ただ、取組が多岐にわたっており一度にすべての取組について予算をつけ人員を割いて行うことは、難しいであろうと考える。よって、今後計画案に優先順位をつけ重点を決めて行ってほしい。全ての取組に薄く、広く対応しようとする改善の成果が得られなくなってしまうことが危惧される。期限を設けることは、できなかった時の反発が大きいので設けるのが難しいのは分かるが、この施策は、いつまでにどのくらいの予算でどのくらいの人員をかけて行うのか、より具体的に示していただけるとありがたい。	②	第5章に計画期間内に重点的に取り組む事項について示しております。また予算には限りがあることから、時勢を踏まえ、実施する事業の優先度を検討しながら、取組を進めていきます。
33	教員の負担軽減は、数を増やすことに尽きます。(持ち時数、30人学級など)学校の努力には限界があります。行きつくところは予算ということになってしまいますが。 そんな中、部活動改革は、目に見える具体的な成果が出るのではないかと期待しています。	③	期待に応えることができるよう努力してまいります。
34	計画案を読んで、改めて広い視野で静岡市の教育について考えることができました。 作成は大変だったと思います、お疲れ様です。	④	ご意見ありがとうございます。
35	・人々が、いつでも生き活きと自由に活動ができる場(例えば子どもにとって児童館など)が地域にたくさんでき、大人も子どもも地域で何かやっついこう!と思える場があると思う。コロナ禍で地域の中での交流の場が激減してしまったので。 ・方向性1の指標①は、こういうことでいいのかわからない。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
36	計画案や構想がとても素晴らしいと思います。具現化をどのように図るか、どこからどのように手をつけていくか、既存のものを生かしつつスクラップ&ビルドし、静岡市の教育の教育新時代が到来することを期待します。そのために、構築する仕組みのモデルができれば、それに倣い他の仕組みも作ることができ、それらを乱立させることなく関連づけを進め、総合的な静岡市の教育パッケージが作られればよいと思います。学校現場は、一人一人の子どもの将来を見据え、具現化・実行あるのみです。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
37	計画期間内に重点的に取り組む事項の「方向性2」にぜひ力を入れてください。	②	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
38	静岡市独自の計画を楽しみにしています。	④	ご意見ありがとうございます。
39	教育を実現するための環境づくりがより重要であると考えます。子どもの教育を支える人材面、子どもが生活する場、施設面への強力なテコ入れがますます必要になってくると思います。 「子どもへの投資は、未来への投資」だと思います。未来を作り出す子どもたちへ、「静岡市はこんなに頑張っているんだよ!!」というメッセージが必要だと思います。	②	第5章に計画期間内に重点的に取り組む事項について示しているとおおり、安全安心で魅力ある教育環境の整備を進め、信頼できる学校づくりを目指します。
40	・第2期の施策「学校におけるエアコン設置、トイレの洋式化」についてです。教室整備ができましたが、特別教室のエアコン設置がされておらず、十分な学校環境になっておりません。学校の特別教室も学級教室と同じ児童生徒の学びの場です。取りこぼしのないように継続をしていただきたいです。	③	児童・生徒の健康のため、そして学習しやすい環境づくりのため、引き続き、特別教室への空調設備導入の検討を進めてまいります。
41	社会情勢が短期間で変化していく中で、8年間という長期間の計画となる。そのため、あまり細かく取り決めてしまうと、柔軟な対応ができなくなるので、方針や大きな施策以外は、変更や軌道修正できるとよい。また、子どもたちの教育だけでなく、そこに関わる教員や行政職員の育成も非常に重要であるため、人材育成にも取り組めるとよい。	②	8年間の本計画では、「目指す子どもたちの姿」、「基本的な方向性」、「施策」、「事務事業」の階層で体系的に整理しており、「事務事業」については、4年毎に見直しを行うアクションプランに位置づけ、時代の潮流や社会編がに柔軟に対応できる構成としています。
42	・P4「(8)公共施設の老朽化」が一文しかないため、更新の時期を迎えている現状の具体をもう少し明記した方がよい。 公共施設→学校、「図書館」などに触れる。	①	ご指摘を踏まえ、「全国的に、学校や図書館をはじめとした多くの公共施設の老朽化が進み、更新の時期を迎えています。」とします。
43	・P4「(10)地域コミュニティとつながりの変化」のところでは、状況の変容の様子をもう少し細かく触れる。(隣組、近隣意識の希薄化など)	①	ご指摘を踏まえ、「～に伴い、近所付き合いの希薄化など、地域コミュニティの状況～」とします。
44	・P7「(1)学力向上支援策の推進」では「学習支援(学力アップサポート事業)を実施した」とあるが、「～参加児童“生徒”の事後調査において～」とあるが、実際この事業の大半は小学生対象で、一時期仕方なく美和中が少しだけ関係していたと記憶している。生徒が加味されているのはなぜ?	③	学力アップサポート事業は、小学校高学年児童の基本的な学力の向上を支援する事業ですが、H29、H30年度に、小中一貫教育の推進に資する取組として美和中Gの希望により中学校で実施したため、「生徒」と記載しました。
45	・P7、P8、P9 表記統一を。 「～がみられる」→「～が見られる」に	①	ご指摘を踏まえ、表現を統一します。
46	・P7「(2)静岡型小中一貫教育の実施」の2行目、「各グループ」が不明確なので、「各中学校グループ」にした方が分かりやすい	③	語句の整理として「グループ」は中学校区に属する全ての学校を指し、「グループ校」はグループに属する各学校としております。
47	・P8表記統一 (4)グローバル人材の育成「～愛着と誇りを“持”ちながら」	①	ご指摘を踏まえ、表現を統一します。

計画案や本市の教育全般について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

区分		件数
①	計画・施策に反映するもの	12件
②	既に計画案等に盛り込み済のもの	41件
③	計画案には反映しないが、今後の参考とするもの	205件
④	その他の要望、感想等	21件

※選択肢を選んだのみで意見の記載がないものがあるため、意見総数と対応数は一致しない。

No.	理由	区分	対応
48	・ P9（6）学校図書館の充実の文中に、文科省の言う機能「学習センター」「情報センター」「読書センター」の記述を挿入した方がよい。	①	ご意見を参考に反映させていきたいと思います。
49	・ P13表記統一 （3）心の教育の推進の2行目「身にいる」→「身に付いている」に、その他同様（文科省は「身に付ける」で使用）	①	ご指摘を踏まえ、表現を統一します。
50	・ P18（11）小中学校の適正規模化の検討4行目「保護者や地域の皆さん」→「保護者や地域の方々」	①	ご指摘を踏まえ、表現を修正します。
51	・ 全体「一人ひとり」→「一人一人」指導要領ではこの記述	③	本計画においては、本市の最上位計画である第4次静岡市総合計画と表現を統一し、「一人ひとり」といたします。
52	・ P25「人権教育や生命を大切に教育の推進」で、「子どもの権利条約」や子ども基本法について触れなくてよいか。	②	「教員が子どもの権利を十分に理解した上で、人権尊重の視点に立った学校づくりや教育活動を行います。」の中に「子どもの権利条約」「子ども基本法」の意味を含めています。
53	・ P31「施策⑤国内外でグローバルに活躍できる人材の育成」高校改革の推進（2）4つの視点（グローバル〔国際教育〕～）	①	ご指摘を踏まえ、表記を修正します。
54	・ P31「英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト」について、小学校英語専科教員の配置について触れなくてよいか。	①	p31「英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト」（2）に以下のとおり「小学校外国語専科教員」について追記します。 （2）教職員研修の充実や小学校外国語専科教員、外国語指導助手（ALT）、地域人材（GET）の活用を通して、英語指導力の強化に取り組みます。
55	P34特色ある小中高等学校教育の推進について、市立高校のSSHなどについて触れなくてよいか。	②	SSH事業については「科学教育の推進」を行う上での一部分であるため、本計画では、より広義の表現を用いて策定しています。 そのため、今後も特色ある高等学校教育を推進する上で、SSHの理念を踏まえながら、「科学教育の推進」に取り組んで参ります。
56	・ P43,44「小中学校施設の整備」では、既に山間部以外に両河内小中そして蒲原中学校区と実際に完全な併設型から一体型小中一貫校になった（なる）例に触れるのと同時に、今後の見通しを具体的に述べたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
57	P48「小中学校適正規模適正配置の推進」では、「統合や通学区の見直し」と簡単に述べるだけでなく、両河内や蒲原に続く施設一体型小中一貫校の設立の推進について触れたい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
58	・ P58 方向性3の3つ目として、「学校再編と施設一体型小中一貫校の開設推進」に関して指標を起こせないか。せっかく苦労を重ねて教育総務課で学校の適正規模適正配置に関して保護者や地域へのアンケート調査をしたので、目標を具体的に示さないと行動に移さず終わってしまわないか。前回7、8年前にも調査した？定期的に調査してとの時々現況や意向を確認して引継ぐだけでは期待して回答した人々の意に背くことであり、失礼であると感じるので。よって体系図にもこれを⑩として記載してほしい。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。
59	小中一貫教育とコミュニティスクールの推進にともなう制度や組織の整理、学校・家庭・地域への周知理解と連携を進めていく必要性を感じている。	③	いただいたご意見につきましては、今後の教育行政運営の参考とさせていただきます。